UNI-PEX

プログラムタイマー

取扱説明書

DT-1800

このたびは、プログラムタイマーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本機は1週間分のプログラムを4種類と当日限定（1日分）のプログラムを1種類登録でき、時期に合わせたタイマー動作が選択可能なプログラムタイマーです。ミュージックチャイムなどと組み合わせて使用していただきますと、設定した時刻に放送を開始、及び停止させるといった自動放送が可能です。

目　次

□安全上のご注意……2～3
□設置、使用上のご注意……4
□免責事項についてお願い……4
□特長……4
□各部の名称と説明（前面、後面）……5、6
□本機の使用手順……7、8
□本機のご使用にあたって
・端子出力について……9
・通信出力について……9
・プログラム概要……10
・タイマー動作プログラムについて……11
・タイマー動作状態（ON/OFF）について……11
・出力状態保持と復帰動作について……11、12
□基本設定
設定メニューの構成……13
基本操作及び表示について……14
・日付／時刻の設定……15
・00秒アジャスト機能について……16
・24時間表示時計について……16
・時計部の停電補償について……16
・時刻補正の設定……17
・外部メーク接点方式……18
・外部親時計信号受信方式……18
・バックライトの設定……19
・確認音の設定……19
・プリ（5秒前）出力設定……20
・復帰動作設定……21
□プログラムの登録
・プログラム登録の概要……22
・プログラムの登録……23～25
・プログラムの重複について……26
・プログラムの確認……27～29
□年間スケジュール
年間スケジュールの設定手順……30
・年間スケジュールの登録……31～33
・年間スケジュールの確認……33
・年間スケジュールの修正……34
□動作プログラムの手動設定
・動作プログラムの設定……35
・動作プログラムの解除……35、36
□キーロックについて……37
□動作表示について
・動作表示概要……37
□プログラムの修正
・概要……38
・プログラム修正（削除→全出力）……39
・プログラム修正（削除→上記出力）……40
・プログラム修正（変更→曜日）……41
・プログラム修正（変更→時刻）……42
・プログラム修正（変更→出力）……43
・プログラム修正（追加）……44
□プログラム／スケジュールの編集……49
・一括コピー……45、46
・一括削除……47、48
□プログラム／スケジュールの全削除……49
□手動操作
・手動出力……50
・週間／当日プログラムテスト……51
□SDカード操作
SDカード（別売）の使用について……52
・プログラムファイル保存……53
・プログラムファイル読み出し登録……54
□施工方法
・接続例……55
・入出力仕様……56
・結線方法……56
・EIA規格ラックへの取り付けかた……57
□エラー表示例……57～59
□故障かな？と思われましたら……59
□工場出荷状態へ戻す方法……59
□雑音が発生する場合は……59
□誤動作などの対策について……60
□定格……60
□外観寸法図……61
□連絡先のご案内……61
□保証書……61
□登録内容表
・週間／当日プログラム用（個別）……62
・週間／当日プログラム用（共通）……63
・年間スケジュール用……64

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。

工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

サービスコンセントに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数またはA数を超えない

火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線、スピーカー線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

間隔をおいて設置する
内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。

重量に耐える取り付け、設置をする
取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜け

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜け

本機を電源コンセントの近くに置いて使用する
万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにして使用してください。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。

SDカード挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。

移動するときは、コード類を傷つけない
火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。

プラグをコンセントから抜け

この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

通信ポートにハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しない
ハブやパソコン並びにPoE対応機種を接続しますと破損・焼損する恐れがあります。

廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら必ずスピーカー端子盤カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。

１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

●EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。別売の換気パネルRIB-1F(別売品)を取り付けることをおすすめします。
●次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・使用温度範囲をこえる－10℃以下、＋60℃以上の場所／使用湿度範囲をこえる85%以上の場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

●本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。
●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。
●ラックなどに組込む場合は3㎜以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特　長

●対話式の簡単な操作性
液晶表示と少数ボタン入力により直観的で簡単な操作をサポートします。

●複数プログラムの管理
週間単位のプログラム4種類に加えて当日限定のプログラムを1種類登録でき、季節の変わり目や一定期間の行事に対して、適切なプログラムを随時切換可能です。

●自動的な動作プログラムの変更
翌日動作設定や年間スケジュールにより、動作するプログラムの自動切換が設定可能です。

●外部時刻補正機能
外部メーク接点及び親時計信号の受信により、親時計などの外部機器に同期した正確な時刻でのタイマー動作が可能です。

●停電補償
停電時も内蔵蓄電池によって720時間以上、設定時刻を保持します。

●多系統の接点出力
無電圧メーク接点出力を8系統搭載しています。

●省配線での多彩な起動制御
専用通信ケーブル1本の接続のみで、専用機器を多チャンネルに渡って制御可能です。

●ＳＤカード対応
ＳＤカードを使用して、プログラムの読み出し／保存といった管理が可能です。

●ラックマウントが可能
EIA規格ラックへの取り付けが可能です。(57頁の「施工方法－EIA規格ラックへの取り付けかた」参照)

各部の名称と説明

（前面）

タイマー動作ボタン
このボタンを押しますと、タイマー動作状態（ON/OFF）が切り換わります。タイマー動作をさせる場合はONに、手動で操作する場合等はOFFにしてください。

タイマー動作表示灯
タイマー動作ON時に点灯し、OFF時に消灯します。

プログラム表示灯
現在選択されているプログラムに対応する表示灯が点灯し、その他の表示灯は消灯します。

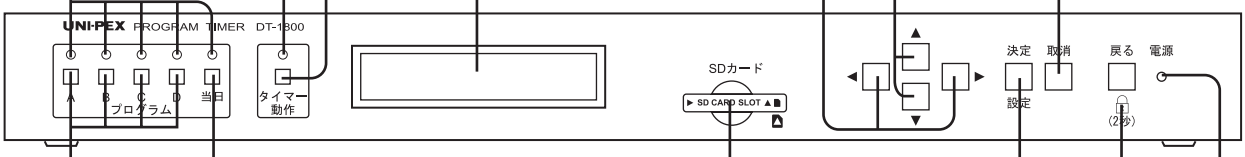
液晶表示部
通常時は日付／時刻や動作状態等を表示します。設定時は各種の設定項目等を表示します。

■ご注意
バックライトは工場出荷状態では30秒間操作をおこなわないと消灯します。（詳細は19頁の「バックライトの設定」を参照してください。）

上下ボタン（▲▼）
設定時にカーソル表示がある場合はその項目を、カーソル表示がない場合は2行目の表示全体をそれぞれ変更するときに押します。通常時は出力動作表示を行うときに押します。（37頁の『動作表示について』参照）

左右ボタン（◀ ▶）
通常時にプログラム動作表示をおこなうときや、設定時に液晶表示部のカーソル『[　]』を移動させるときに押します。（プログラム動作表示については37頁の『動作表示について』を参照してください。）

取消ボタン
設定時にこのボタンを押しますと、1つ前の画面に戻ります。押し続けると最後に時計画面に戻ります。



プログラムボタン（当日）
このボタンを押しますと、当日限定（1日分）のプログラムが選択されます。
（プログラム切替の詳細は35頁の『動作プログラムの手動設定』を参照してください。）

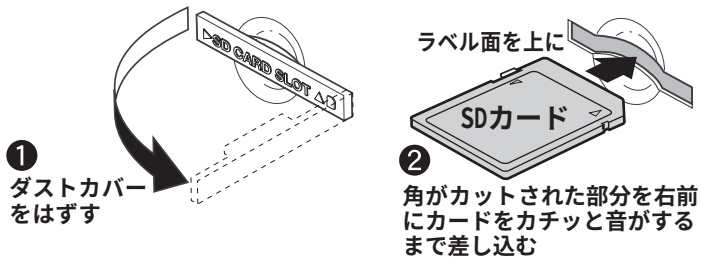
決定（設定）ボタン
時計（通常）画面から設定画面に移行するときや、設定時に各種の設定内容を決定するときに押します。

電源表示灯
本機が通電中のときに点灯します。

プログラムボタン（A～D）
このボタンを押しますと、それぞれ対応するグループのプログラム（1週間分）が選択されます。
（プログラム切替の詳細は35頁の『動作プログラムの手動設定』を参照してください。）

戻る（キーロック）ボタン
設定時にこのボタンを押しますと、設定メニュー画面に戻ります。設定メニュー画面で押した場合は時計（通常）画面に戻ります。また、通常時に長押し（2秒以上）しますと、キーロック状態（ON/OFF）が切り換わります。（37頁の「キーロックについて」

ＳＤカード（ユーザープログラム用）挿入口／ダストカバー
SDカード（別売）を挿入してください。
詳細は52頁の『SDカード操作』を参照してください。



❶ ダストカバーをはずす

❷ 角がカットされた部分を右前にカードをカチッと音がするまで差し込む

■ご注意
プログラムファイルの読み書き動作中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず上記動作中以外におこなってください。

取り出しかた

一度カチッと音がするまでカードの中央部を押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

注）いきなりにカードを引き抜かないでください。カードスロットが破壊されることがあります。

各部の名称と説明

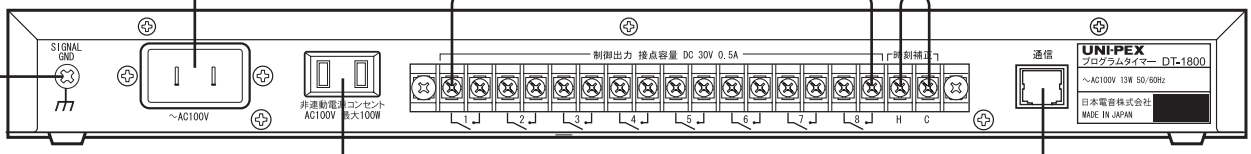
（後面）

AC電源入力端子
付属のＡＣ電源ケーブルを使用し、ACコンセントに接続してください。

⚠警告
付属又は指定の接続コード以外はご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。

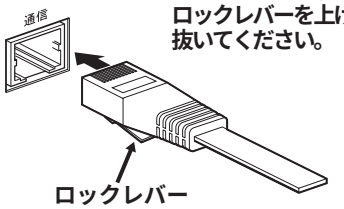
CH1～CH8起動出力端子
各チャンネル(1～8)ごとの起動出力端子です。
(MAX DC30V 0.5A)
ミュージックチャイムやアンプ等の起動入力端子に接続してください。

時刻補正用入力端子
無電圧メーク接点出力または親時計の時刻補正信号出力端子と接続してください。(詳細は17頁の「時刻補正の設定」を参照してください。)



通信コネクター
専用の通信制御機能付き外部機器の通信コネクターと接続してください。(55頁の「接続例」を参照してください。)

■はずし方
コネクターをはずすときはロックレバーを上げながら抜いてください。



サービスコンセント(非連動)
音響機器以外は接続しないでください。

⚠警告 接続する機器の消費電力の合計が100Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。また本機の保護用ヒューズが溶断する場合があります。

アース端子
このアース端子は他の音響機器を接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アース(接地用)ではありません。

本機の使用手順

●本機の基本的な使用手順は、下記の通りです。

準備

①プログラムの計画を立てる

まずはじめに、本機に登録するプログラムの計画を立ててください。
計画した内容は、62頁の「登録内容表」に記録するなどして、保存しておきましょう。
本機に登録したプログラムとスケジュールは、SDカードに保存して管理する事が可能です。

62頁

基本設定をおこなう

②現在の日付と時刻を設定する

本機を起動したら、最初に現在の日付と時刻を設定してください。
正しく設定されていないと、本機が計画した通りに動作しません。

メニュー　時計表示画面→【１】基本設定→１.日付/時刻設定

その他の基本設定（時刻補正、バックライト、確認音、プリ（5秒前）出力、復帰動作）については、17頁以降をご確認ください。

15頁

プログラムの登録と動作日の設定

③プログラムを登録する

本機には5つのプログラム（4つの週間プログラム（A～D）と、1つの当日プログラム）を設定可能です。

週間プログラム

曜日単位のプログラムを登録します。登録した内容は、毎週指定した曜日に実行されます。

メニュー　時計表示→【2】プログラム/スケジュール設定→１.登録→週間プログラム

22頁

当日プログラム

1日限定のプログラムを登録します。登録した内容は、指定した日のみ実行されます。

メニュー　時計表示→【2】プログラム/スケジュール設定→１.登録→当日プログラム

22頁

プログラム登録の流

グループの選択→曜日の選択→時刻の設定→出力先の設定→出力状態の設定→登録確認

当日プログラムの場合は、表示されません。

［追加］
同時刻に新たな出力を追加する場合、選択してください。

［決定］
別時刻に新たな出力を追加する場合、選択してください。

次頁へ続く

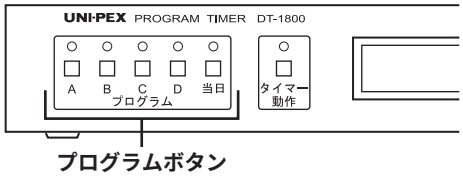
本機の使用手順

④プログラムが動作する日を設定する

登録したプログラムが動作する日を設定しましょう。
設定は、プログラムボタンによる設定と、年間スケジュールによる設定の、2種類があります。

プログラムボタンによる設定

プログラムボタンを押して、設定することができます。
設定できる日は、即時か翌日のみです。
※翌々日以降を指定したい場合は、年間スケジュールで設定してください。



35頁

年間スケジュールによる設定

年間スケジュールでは、年月日単位で設定できます。
毎月同じ日や、毎年同じ月日に動作させる設定も可能です。

30頁

メニュー　時計表示→【2】プログラム／スケジュール設定→１.登録→年間スケジュール

確認・修正

⑤設定した内容を確認、修正する

プログラムと年間スケジュールは、確認しながら削除や変更などをおこなう事が可能です。

メニュー　時計表示→【2】プログラム/スケジュール設定→2.確認/修正→プログラム/スケジュール選択

選択したプログラムに応じて、4種類の表示モードがあります。表示されたプログラム、スケジュールに対して、修正をおこなうことができます。

表示モード		週間プログラム	当日プログラム
時刻順モード	設定時刻順に、全てのプログラムを表示します。	○	○
曜日指定モード	指定した曜日に登録されているプログラムのみを表示します。	○	×
曜日/出力先指定モー	指定した曜日と出力先に登録されているプログラムのみを表示します。	○	×
出力先指定モード	指定した出力先に登録されているプログラムのみを表示します。	×	○

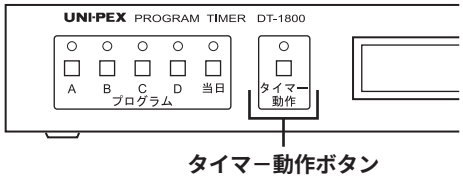
※年間スケジュールの確認は、時刻順での確認のみなので、表示モードの選択はありません。

27頁
38頁

動作の開始

⑥タイマー動作ボタンをONにする

設定が完了したら、プログラムを実行させるために、タイマー動作ボタンを押し、タイマー動作をONにしてください。
※タイマー動作がOFFの場合、設定したプログラムは実行されません。

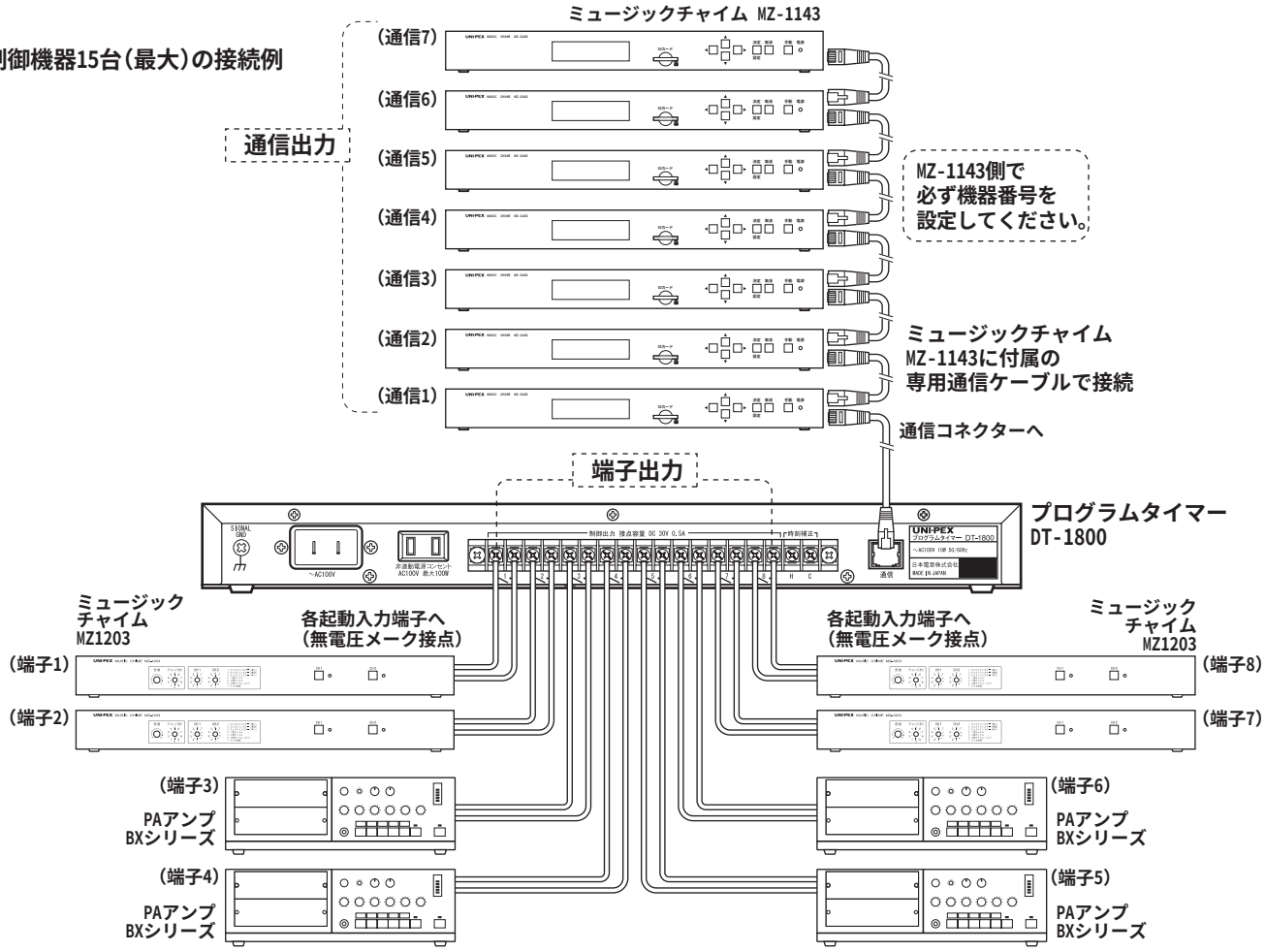


11頁

本機のご使用にあたって

●本機は任意の時刻に端子出力（端子1～8）と通信出力（通信1～7）の合計最大15種類の同時出力が可能です。次の説明は本機と他の機器との関連を表していますので、下図を参考にして本機に登録するプログラムの内容をご検討ください。

図）
被制御機器15台（最大）の接続例



①端子出力について

●本機後面の起動出力端子（端子1～8）の出力を『入』『切』『パルス』の3種類の状態から選択できます。『入』と『切』はアンプなどで電源の入～切が一定時間必要な機器に、『パルス』はチャイムなどパルス信号によって動作を開始する機器に設定してください。

```
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉 A  月火水木金
 09:00     -〈[(01/15)端子1 =  入 ]〉
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼  設定            [修正]
```

設定例）
本機の起動出力端子1に接続した
機器の電源を『入』状態にする

②通信出力について

●本機後面の通信コネクターの出力を『CH01』から『CH99』まで99種類の状態から選択できます。専用の通信機能付き外部機器の機器番号を『1』から『7』まで設定できるため、通信コネクターで最大7台の専用機器を制御することができます。（機器番号の設定については専用の通信機能付き外部機器の取扱説明書をご覧ください。）

```
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉 A  月火水木金
 09:00     -〈[(09/15)通信1= CH01]〉
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼  設定            [修正]
```

設定例）
機器番号『1』の専用通信機器の
チャンネル1を起動する

●ご注意 ・複数台の専用通信機器を接続する場合は必ず機器番号が重複しないように個別に設定してください。重複していると正常に動作しません。

本機のご使用にあたって

●次の説明は本機に登録できるプログラム及びスケジュールの内容を表します。下記を参考にし、本書最終頁のプログラムシートを利用して登録するプログラムを作成してください。

③プログラム概要

週間プログラム

■週間プログラムと当日プログラムは任意の時刻に任意の出力制御を行うものです。
1ステップ(1つの時刻)毎に最大15種類(端子1～8、通信1～7)の出力が登録可能です。

・グループＡ～Ｄの4種類、それぞれ各曜日に最大50ステップまで登録可能です。
・動作開始から停止または変更するまで、曜日に応じた動作を繰り返します。
(月→火→水→…→土→日→月→火→水→…→土→日→　以降も繰り返し)

例)週間プログラム／グループA選択時の動作

日付	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)	1/5(金)	1/6(土)	1/7(日)	1/8(月)	以降繰り返し
プログラム	A-月	A-火	A-水	A-木	A-金	A-土	A-日	A-月	Aグループ

当日プログラム

・最大100ステップまで登録可能です。
・動作開始から停止または変更、及び翌日(00:00時)まで動作します。
(1日限定のプログラムですので、翌日は元の動作に戻ります。)

例)週間プログラム／グループA ⇒ 当日プログラム選択時の動作

日付	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)	1/5(金)	1/6(土)	1/7(日)	1/8(月)	以降繰り返し
プログラム	A-月	A-火	A-水	当日	A-金	A-土	A-日	A-月	Aグループ

↑翌日元に戻る

④年間スケジュール

年間スケジュール

■年間スケジュールは任意の日付に自動で動作プログラムの変更を行うものです。
『○年○月○日』、『毎年○月○日』、『毎月○日』といった任意の日付に任意のプログラムへと動作プログラムを変更します。

・最大30種類のスケジュールを登録できます。
・週間プログラムを指定する場合は、指定の日付だけの変更『=』か指定の日付以降『～』の変更かを選択できます。
・当日プログラムを指定する場合は、指定の日付だけの変更『=』になります。

例①)週間プログラム／グループA⇒年間スケジュール『○年1月4日～B』の動作

日付	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)	1/5(金)	1/6(土)	1/7(日)	1/8(月)	以降繰り返し
プログラム	A-月	A-火	A-水	B-木	B-金	B-土	B-日	B-月	Bグループ

Bグループが自動的に翌日設定に適用↑　　↑Bグループに動作プログラム変更

例②)週間プログラム／グループA⇒年間スケジュール『毎年1月5日＝B』の動作

日付	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)	1/5(金)	1/6(土)	1/7(日)	1/8(月)	以降繰り返し
プログラム	A-月	A-火	A-水	A-木	B-金	A-土	A-日	A-月	Aグループ

Bグループが自動的に翌日設定に適用↑　　↑Bグループに動作プログラム変更、翌日はAグループに戻る

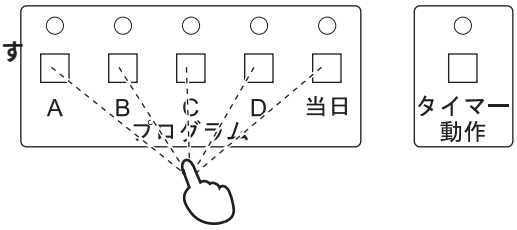
例③)週間プログラム／グループA⇒年間スケジュール『毎月3日＝当』の動作

日付	1/1(月)	1/2(火)	1/3(木)		2/1(金)	2/2(土)	2/3(日)	2/4(月)	以降繰り返し
プログラム	A-月	A-火	当日		A-金	A-土	当日	A-月	Aグループ

当日プログラムが自動的に↑翌日設定に適用　　↑当日プログラムに当日プログラムが自動↑動作プログラム変更に翌日設定に適用　　↑当日プログラムに動作プログラム変更

⑤タイマー動作プログラムの選択について

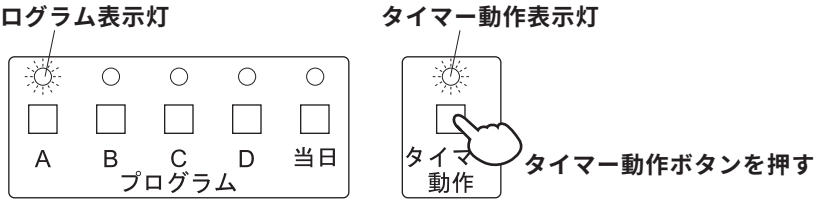
選択するプログラムボタンを押す



・週間プログラム4種類と当日プログラムの内から1種類を選択します。
（複数のプログラムを同時に動作させることはできません。）
・前面のボタン入力によって、いつでも動作プログラムの変更や停止が可能です。
・動作プログラム変更時には、すぐに変更を適用するか、翌日(00:00時)から適用するかを毎回選択できます。

●ご注意　・タイマー動作ON時はプログラム設定中（登録/修正/一括コピー/一括削除など）のプログラムを動作プログラムには設定できません。

⑥タイマー動作状態（ON/OFF）について



・タイマー動作ボタンを押すことで、タイマー動作状態のON/OFFを変更できます。タイマーによるプログラム動作を有効にする場合はタイマー動作表示灯を点灯させて、動作ON状態にしてください。（タイマー動作OFF状態では全ての端子出力は『切』状態になり、プログラム動作は一切起動しません。）

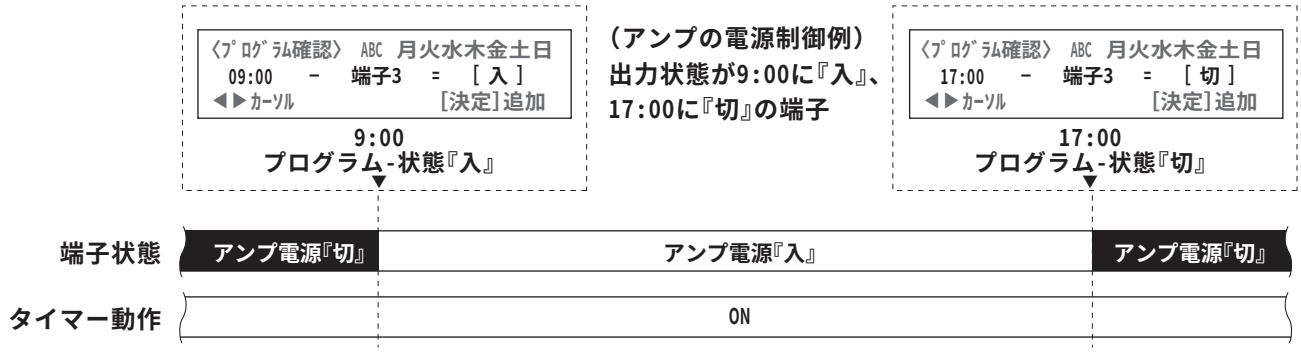
●ご注意　・タイマー動作ON時は動作プログラムに設定（翌日も含む）されているプログラムの設定（登録/修正/一括コピー/一括削除など）はできません。同様に動作プログラムが設定中の場合、タイマー動作をON状態にはできません。

⑦復帰動作と出力設定保持について

●本機はタイマー動作ON時に端子の出力状態（『入』）の期間を常に記憶しています。復帰動作設定が『動作ON状態』の場合、停電等が原因で設定時刻に起動していなかった　アンプなどを、停電復帰後に自動的に電源『入』の状態に復帰させることが可能です。
（電源ON時に本機は動作準備に30秒要します。その間はプログラム出力が起動しません。）

●復帰動作設定が『動作OFF状態』の場合は自動的に動作は復帰しませんので、停電復帰後に動作を再開させるには、手動でタイマー動作ボタンを押してください。（下図参照）

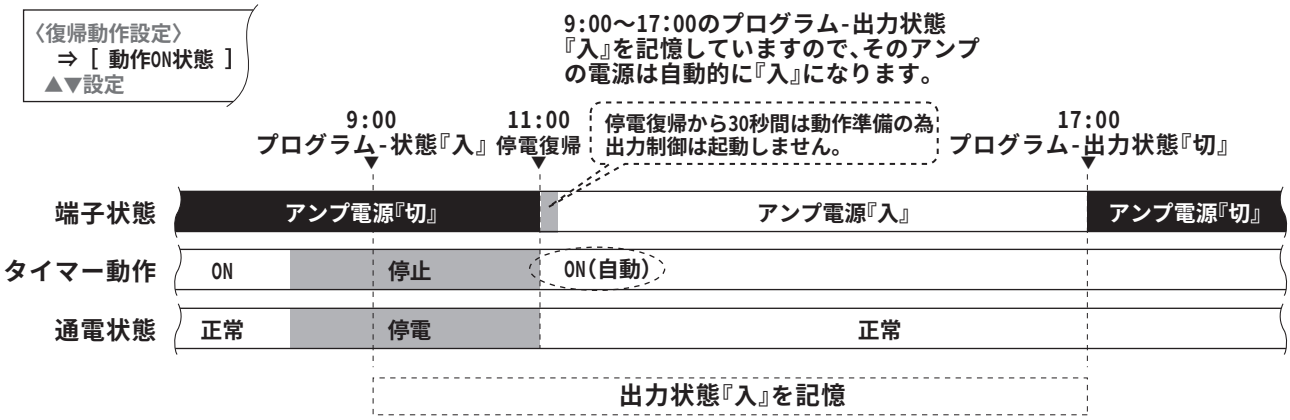
例①）通常時



本機のご使用にあたって

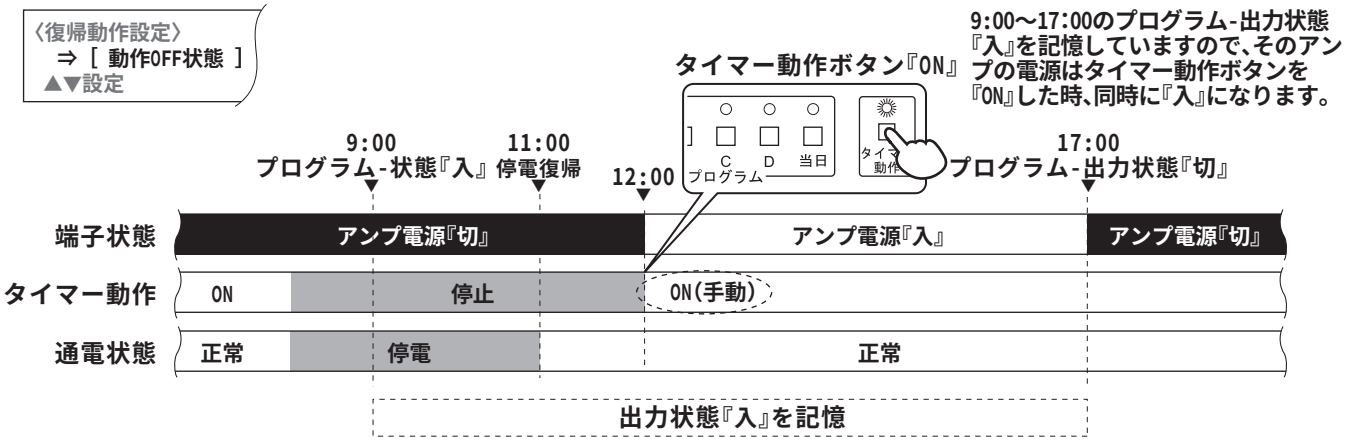
例②）停電時（8:00〜11:00まで停電の場合）

●復帰動作設定『動作ON状態』の場合



●停電復帰時に自動的にタイマー動作は『入』状態になります。（端子が常時『入』状態になる様にプログラム設定し、停電時間のみ『切』状態になる端子としても利用可能で

●復帰動作設定『動作OFF状態』の場合



●停電復帰後にタイマー動作ボタンを押しますとタイマー動作は『入』状態になります。任意のタイミングで速やかに予定の動作を再開させることが可能です。

●ご注意
- 本機は工場出荷状態において、復帰動作設定は『動作ON状態』に設定されています。停電復帰後に勝手に動作すると危険を伴う機器等の制御に使用する場合は、必ず復帰動作設定を『動作OFF状態』に設定して、手動でタイマー動作を再開するようにしてください。
- 週間プログラムにおいては『入』出力後の端子は『切』出力が行われるまで曜日が変わっても『入』状態のままです。（日付が変わっても『切』状態にはなりません。）
- 当日プログラムにおいては日付をまたいでの状態保持は行いません。（日付が変わると翌日の動作プログラムにおける00:00時の状態になります。）

登録するプログラムの内容が決まりましたら、次ページからの設定メニューの構成及び操作手順を参考にして、基本的な各種の設定やプログラム及びスケジュールの設定を行ってください。
（基本設定は工場出荷状態から変更の必要がなければ設定する必要はありません。）

基本設定

設定メニューの構成

・本機は電源投入後は時計画面になります。本体の動作設定やプログラムの設定等を行う際は、決定（設定）ボタンを押して設定画面に移行し、設定したい内容を選んで各種設定をおこなってください。

設定メニュー	項　目	設定内容	記載頁
【1】基本設定	1、日付／時刻設定	本体の日付と時刻を設定します。	15、16頁
	2、時刻補正設定	本体の時刻補正機能（OFF/外部メーク接点方式/外部親時計信号受信方式）を設定します。	17、18頁
	3、バックライト設定	本体の液晶バックライトの動作を設定します。	19頁
	4、確認音設定	本体の確認音のON/OFFを設定します。	19頁
	5、プリ（5秒前）出力設定	本体のプリ出力を行う出力先を設定します。	20頁
	6、復帰動作設定	本体の停電後等の動作復帰時におけるタイマー動作状態（ON/OFF）を設定します。	21頁
【2】プログラム/スケジュール設定	1、登録	各プログラム(週間／当日)や年間スケジュールを登録します。	22～26頁 30～32頁
	2、確認／修正	各プログラム（週間／当日）や年間スケジュールの確認や修正をします。	27～29頁 33～44頁
	3、編集（一括コピー／削除）	各プログラム（週間／当日）の一括コピーや各プログラム（週間／当日）や年間スケジュールの一活削除をします。	45～48頁
	4、全削除	各プログラム（週間／当日）や年間スケジュールを全て削除します。	49頁
【3】手動操作	1、手動出力	出力先を指定して、手動で任意の出力を行います。	50頁
	2、プログラムテスト（週間／当日）	登録してあるプログラムの1ステップを指定して、手動でプログラム出力を行います。	51頁
【4】SDカード操作	1、プログラムファイル保存	本体に登録されているプログラムをSDカードに保存します。	52、53頁
	2、プログラムファイル読み出し	SDカードに保存されているプログラムを本体に登録します。	52、54頁

□各設定の初期設定（工場出荷状態）

設定項目	初期設定（工場出荷状態）
時刻設定	2010/01/01 金曜日00:00
時刻補正設定	OFF
バックライト設定	操作時ON
確認音設定	ON
プリ（5秒前）出力設定	全てOFF
復帰動作設定	動作ON状態
週間プログラム	登録無し
当日プログラム	登録無し
年間スケジュール	登録無し
キーロック	OFF（時計画面でアイコン表示無し）
動作プログラム	『未選択』
タイマー動作設定	OFF（ タイマー動作表示灯：消灯）

基本設定

基本操作及び表示について

■タイトル表示

〈□□□□〉
□□□□□□□
▲▼ﾒﾆｭｰ

〈　　〉内にタイトルを表示します。

《□□□□》
□□□□□□□
▲▼ﾒﾆｭｰ

《　　》内にタイトルを表示します。
時計、設定メニュー画面の場合のみ

■メッセージ表示

《□□□□》
□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□

2行目、または2行目と3行目にメッセージを表示します。

■カーソル表示

〈□□□□〉
［□□□□年］□□月　□□日　　□□時　□□分
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼日付/時刻

設定する項目を選択します。

〈□□□□〉
⇒［□/□/□/□/□/□/□］
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼　ON/OFF（表示/非表示）

設定する項目を選択します。

〈□□□□〉□　　□□□□□
□□□□　□□□□□□□□□　　□□□□
◀▶ｶｰｿﾙ　　［□□］□□

決定する項目を選択します。　□□［□□］

■ヘルプ表示

『▲▼』・・・のヘルプ表示は上下ボタン『◀□▶』を押したときの表示変更内容を示します。

メニュー

〈□□□□〉
□□□□□□□
▲▼ﾒﾆｭｰ

メニューの表示を変更します。

表示状態を変更する

〈□□□□〉
⇒［_/□/□/□/□/□/□］
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼　ON/OFF

表示状態を変更します。

設定内容を選択する

〈□□□□〉　　□□□□□
09:00　－　［□□］　＝　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼　出力先

設定内容を選択します。

『　　』・・・のヘルプ表示は左右ボタン『◀□▶』を押したときの表示変更内容を示します。

カーソル

〈□□□□〉
⇒［□/□/□/_/□/□/□］
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼　□□□□□

カーソル『ー』を移動します。

〈□□□□〉□　　□□□□□□
□□□□　□□□□□□□□□　　□□□□
◀▶ｶｰｿﾙ　　［□□］□□

□□［□□］

カーソル『[]』を移動します。

『戻る』表示がある場合はどのボタンを押しても前の画面に戻ります。

〈週間/当日ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃｽﾄ〉　［戻る］
ﾀｲﾏｰ動作ON時はﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃｽﾄを
実行できません

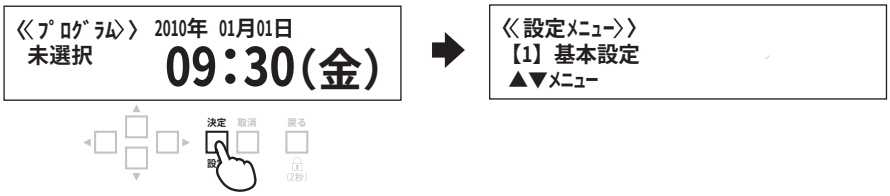
前の画面に戻ります。

■「決定（設定）」ボタン

時計画面から設定画面へ移動する際に押します。設定画面では次の画面に進んだり、設定やプログラムなどの決定処理を行う時に押します。

例）　「決定（設定）」ボタンを押す

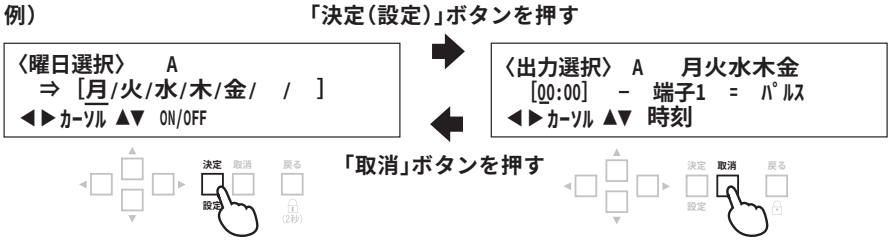
《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》　2010年　01月01日
未選択　09:30(金)



■「取消」ボタン

設定途中に「決定」ボタンを押した後に、前の画面に戻り設定を変更する場合は「取消」ボタンを押してください。
登録処理を開始するまでは押すごとに、それぞれ前の画面に戻ります。

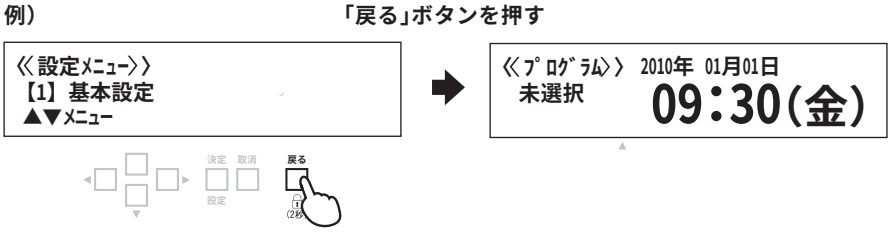
例）　「決定（設定）」ボタンを押す



■「戻る」ボタン

設定メニュー画面で押すと時計画面に、その他の設定画面で押すと設定メニュー画面に戻ります。設定作業が終了した場合や、設定メニューや時計画面に速やかに戻りたい時に押します。

例）　「戻る」ボタンを押す



①日付／時刻の設定

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年 01月01日
未選択 00:00(金)

決定 1 取消 戻る 設定 (2秒)

①工場出荷状態では、最初に時計画面が表示されますので、決定(設定)ボタンを押して設定画面に進みます。
◎通電開始時に表示が乱れる場合がありますが、5秒以内に正常表示となります。異常ではありません。

《設定ﾒﾆｭｰ》
【1】基本設定
▲▼ﾒﾆｭｰ

1 決定 2 取消 戻る 設定 (2秒)

②『【1】基本設定』を選択して決定(設定)ボタンで次に進みます。

【1】基本設定
1．日付／時刻設定
▲▼ﾒﾆｭｰ

1 決定 2 取消 戻る 設定 (2秒)

③『１、日付／時刻設定』を選択して決定(設定)ボタンで次に進みます。

〈時刻設定〉 2010/01/01 00:00:00 ←現状の日付／時刻
[2010年01月04日 09時30分] 決定 ←設定する日付／時刻
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼日付/時刻 ←操作ヘルプ

1 決定 取消 戻る 設定 (2秒)
2 3 決定 取消 戻る 設定 (2秒)

④左右ボタンでカーソルを移動、上下ボタンで日付/時刻をそれぞれ設定し、決定(設定)ボタンを押してください。

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年 01月04日
未選択 09:30(月)

設定例)
2010年01月04日
9時30分00秒(月)

⑤一時的に時計画面に戻り、設定された時刻が表示された後、自動的に動作準備中画面に進みます。

〈動作準備中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを確認しています
しばらくお待ちください

⑥動作準備が終わると自動的に基本設定メニューに戻ります。(動作準備時間はプログラム登録数によって最大15秒程度かかります。)
◎タイマー動作ON時に動作プログラムが設定されている場合にのみ表示され、その他の場合にはこの画面はスキップします。

【1】基本設定
1．日付／時刻設定
▲▼ﾒﾆｭｰ

⑦これで日付／時刻の設定は完了です。(より正確な時刻での動作が必要になる場合は、別途、16頁の『00秒アジャスト機能について』や17頁の『時刻補正の設定』をご参照ください。)

●ご注意　・日付変更後、動作プログラムは年間スケジュールの登録内容によって更新されます。

基本設定

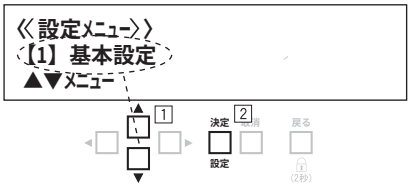
00秒アジャスト機能について

●本機は手動で時計の誤差を±29秒の範囲内で修正することができます。現在時刻を時報などに手動で合わせたい場合は下記手順により秒表示を『00』にあわせてください。

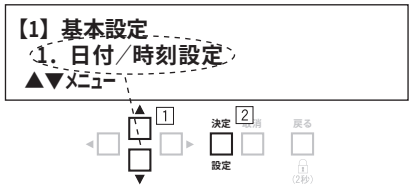
■00秒アジャストのしかた

①時計画面表示時に決定（設定）ボタンを押して設定画面に進みます。

②『【1】基本設定』を選択して決定（設定）ボタンで次に進みます。

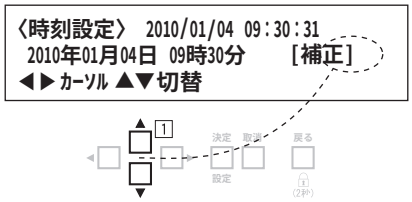


③『１、日付／時刻設定』を選択して決定（設定）ボタンで次に進みます。

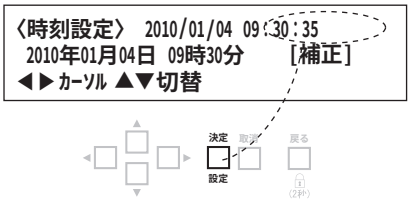


④へ

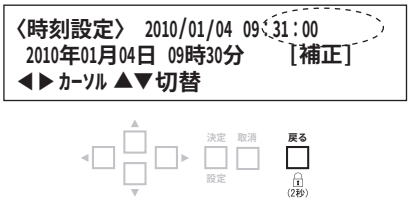
④左右ボタンでカーソルを『決定』位置まで移動させ、上下ボタンで『補正』表示に変更してください。



⑤決定（設定）ボタンを押して修正したい時刻に00アジャストしてください。（下記修正例参照）



⑥00アジャストにより「09:30:35」→「09:31:00」修正しました。戻るボタンを2回押しますと時計画面表示に戻ります。



■00アジャスト修正例

例１）「10:00:15」のときに00アジャストをすると→＋15秒の誤差を修正して「10:00:00」に変わる。
（01秒～29秒の場合は現在の分表示は変わらず00秒にアジャストする。）

例2）「10:00:35」のときに00アジャストをすると→－25秒の誤差を修正して「10:01:00」に変わる。
（30秒～59秒の場合は現在の分表示より1分進み00秒にアジャストする。）

24時間表示時計について

●本機は24時間表示です。

・00:00は深夜12時、12:00は正午の時刻となります。

・23:59（深夜 11:59）の次に00:00に切り換わります。

時計部の停電補償について

●本機は時計部の停電補償のため蓄電池を内蔵しています。停電補償時間は約720時間です。

●停電または電源の供給のない状態が720時間以上続きますと、停電復帰時に初期電源投入時と同様の表示になります。その場合は再度、時刻の設定をおこなってください。登録されたプログラムは停電しても消えずに保持されていますので、再登録する必要はありません。

●内蔵蓄電池は未充電の場合、電源を接続してから約50時間でフル充電状態になります。

停電補償についてのご注意

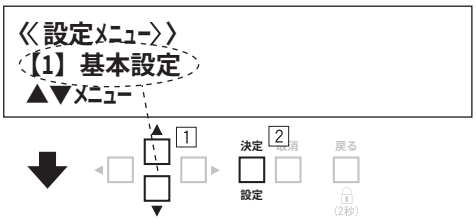
●本機は停電補償（約720時間）のため蓄電池を内蔵しています。内蔵の蓄電池は使用当初、電源を接続してから約50時間経過しませんとフル充電状態になりません。プログラム登録終了後、電源を切る場合はご注意ください。

●本機の電源は必ず常時通電可能なコンセントに接続してください。常時通電ができないコンセントに接続しますと通電時間によっては停電補償の時間が短くなります。

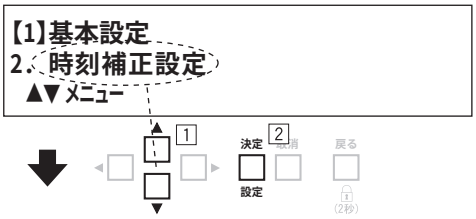
※内蔵の蓄電池の寿命は、ご使用環境により異なりますが標準的な環境でご使用の場合は3年～5年を目処にお考えください。寿命がきますと停電時に停電補償できなくなります。もし蓄電池の寿命により停電補償が出来なくなった場合は、新しい蓄電池と交換し、再度プログラムの動作設定を行ってください。電池の交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

②時刻補正の設定

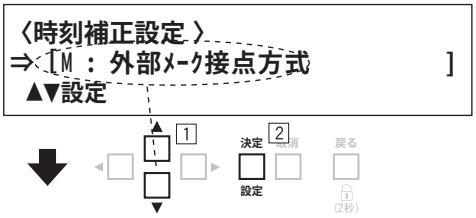
●本機では2種類の時刻補正機能を設定可能です。工場出荷状態では時刻補正機能は設定されていませんので、時刻補正機能を使用する場合は下記手順を参考にして、時刻補正設定を登録し、機器間の配線を行ってください。各方式の特徴及び配線に関しては次頁以降の解説をご参照ください。



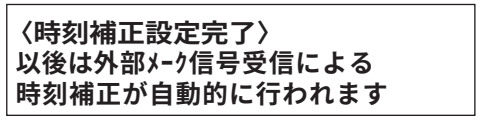
①設定メニューにおいて上下ボタンでメニューを変更し、『【1】基本設定』で決定（設定）ボタンを押してください。



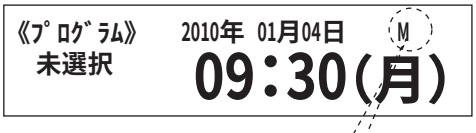
②基本設定メニューで上下ボタンで『2、時刻補正設定』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。



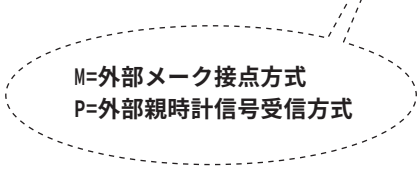
③決定（設定）ボタンを押しますと、時刻補正設定画面が表示されますので上下ボタンで使用する時刻補正方式を選択し決定（設定）ボタンを押してください。



④設定した機能に応じた文章が表示され、数秒後に基本設定メニューに戻ります。これで本体の時刻補正方式の設定は完了です。



⑤以後、設定されている時刻補正機能が時計画面の右上にアルファベットで表示されます。



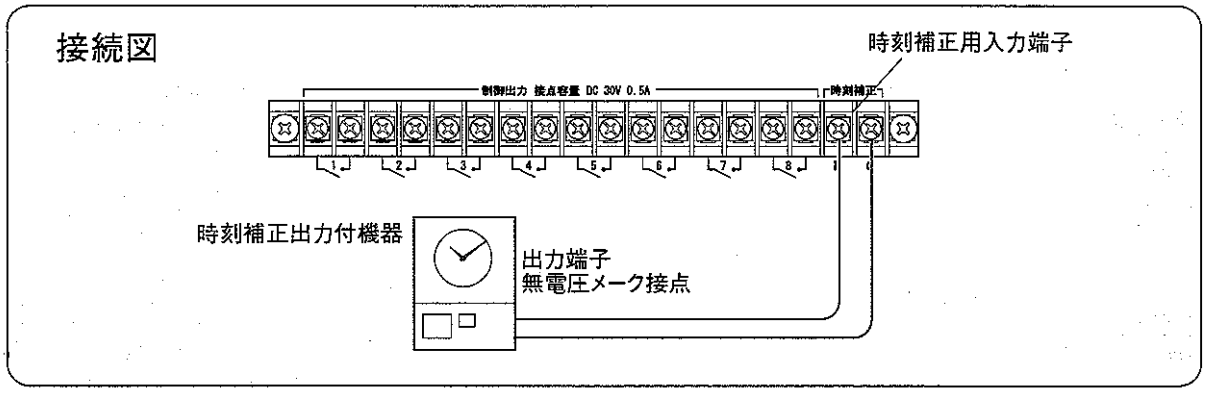
◎時刻補正が行われた後1分間、上記のアルファベット表示が点滅しますので、設定後に正しく時刻補正が行われるかご確認ください。

基本設定

外部メーク接点方式

●外部からのメーク接点により時刻を00秒にするアジャスト補正を自動的に行います。
●入力信号により時刻が00秒に補正されますので配線はノイズの発生する機器及びその機器の配線の近くに通さないでください。誤動作の原因になります。
●最低1日に1度は補正を行う機器を用いてください。補正は1時間毎（00分±59秒のとき）に1度だけ可能です。
●接点出力は無電圧メーク接点（最小幅0.5秒）、接点の定格がDC12V以上／電流50mA以上、接続線は導体抵抗が50Ω以下になるようにしてください。

●時刻設定時のご注意　**・最初に本機の時刻設定をするときは時刻補正出力付機器の時刻との差が59秒以内になるように設定してください。時刻の差が59秒を超えると正しい時刻補正ができません。**



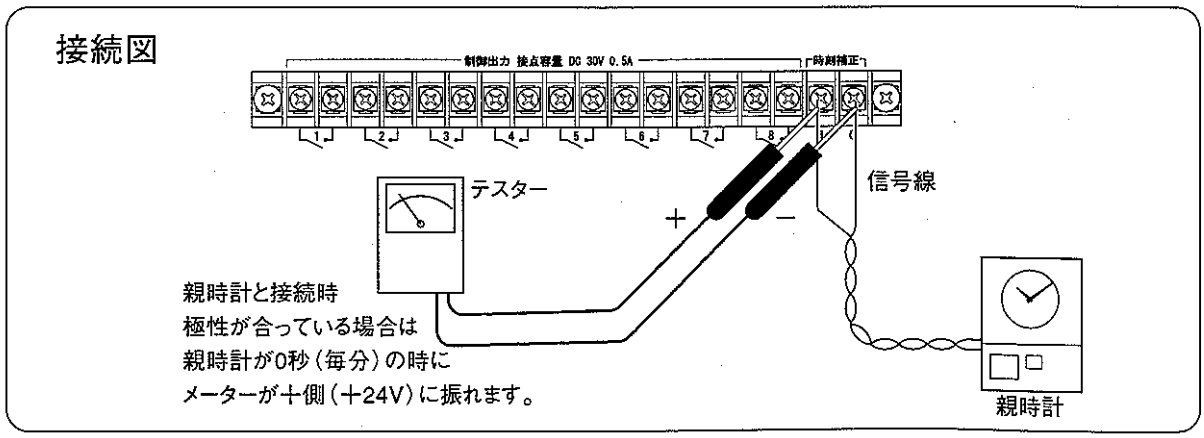
外部親時計信号受信方式

●接続した親時計からの信号により時刻を00秒にするアジャスト補正を自動的に行います。
●時刻補正は、1時間毎（00分±15秒のとき）に1度だけおこないます。
●親時計は30秒式のものが使用可能です。親時計信号による内部時計の時刻補正範囲は±15秒です。それ以上本機と親時計の間に誤差が出たときは修正できません。

≪30秒式親時計の極性について≫
①テスターをDC25V以上のレンジにセットします。
②親時計からの信号線にテスター棒をあて、極性が合っている場合は親時計が0秒（毎分）のときにメーターが＋側（＋24V）に振れます。本機の時刻補正用入力端子に極性を合わせて接続してください。

●ご注意　親時計の信号線を接続する場合は、極性を間違いますと時刻補正機能が働きません。必ず極性を確認して接続してください。

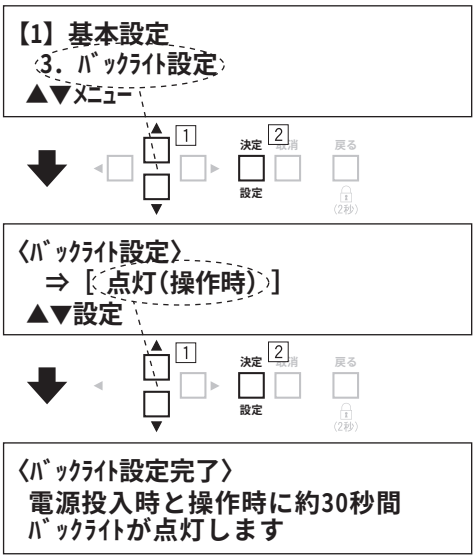
●時刻設定時のご注意　**・最初に本機の時刻設定をするときは親時計の時刻との差が15秒以内になるようにしてください。時刻の差が15秒を超えると正しい時刻補正ができません。**



③バックライトの設定

●工場出荷状態ではバックライト設定は点灯(操作時)になっています
設定を変更する場合は下記の手順をご参照ください。

バックライト設定	詳細
点灯(操作時)	30秒間操作を行わないと自動で消灯します。(文字表示は消えませ
点灯(常時)	常に点灯しています。時計画面を常時確認したい場合に設定してく
消灯(常時)	常に消灯しています。最も省電力な状態です。



①基本設定メニューの中から『3、ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ設定』を選択して決定(設定)ボタンで次に進みます。

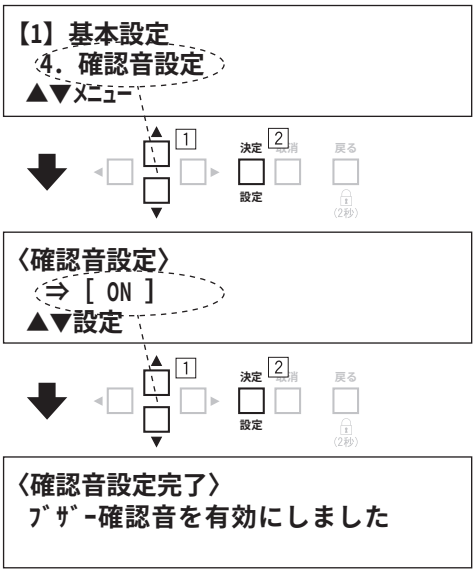
②上下ボタンで設定を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

③各設定に応じた文章が表示された後、数秒後に自動的に基本設定メニューに戻ります。これでバックライトの設定は完了です。

④確認音の設定

●工場出荷状態では確認音設定はONになっています
設定を変更する場合は下記の手順をご参照ください。

確認音設定	ボタン操作有効時	ボタン操作無効時	各設定登録時
ON	『ピッ』	『ピピッ』	『ピーッ』
OFF	無音		



①基本設定メニューの中から『4、確認音設定』を選択して決定(設定)ボタンで次に進みます。

②上下ボタンで設定を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

③各設定に応じた文章が表示された後、数秒後に自動的に基本設定メニューに戻ります。

基本設定

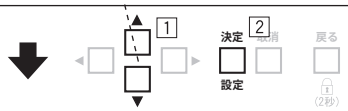
⑤プリ(5秒前)出力設定

●常にプログラム登録時刻の5秒前に動作させたい出力先がある場合はこの機能をご使用ください。この設定に登録した出力先(端子1〜8、通信1〜7)　は、プログラム設定時刻の5秒前に動作します。

◎本機は任意の時刻に同時に最大15種類の出力を登録、実行可能ですので、設定時刻の5秒前にアンプを起動させて、設定時刻に演奏を開始させるといった処理を1ステップのプログラムとして登録、実行可能です。

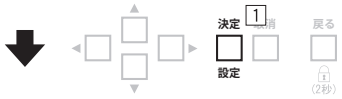
●工場出荷状態ではプリ(5秒前)出力設定は未登録です。設定を変更する場合は下記の手順をご参照ください。

【1】基本設定
5、プリ(5秒前)出力設定
▲▼メニュー



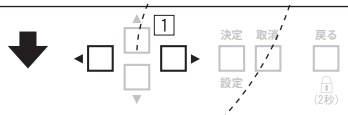
①基本設定メニューの中から『5、プリ(5秒前)出力設定』を選択して決定(設定)ボタンで次に進みます。

〈ﾌﾟﾘ(5秒前)出力設定〉
ここで指定した出力はﾀｲﾏｰ動作時に
設定時刻の5秒前に動作します

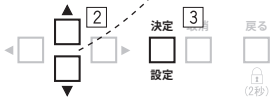


②設定の詳細が表示されます。決定(設定)ボタンで次に進みます。

〈ﾌﾟﾘ(5秒前)端子出力設定〉
ﾌﾟﾘ端子　⇒ [1/2/3/4/5/6/7/8]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ ON/OFF



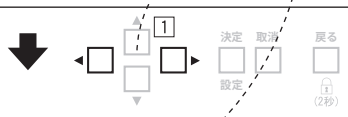
カーソルを移動



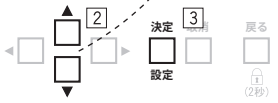
▲▼設定したい番号のみを表示

③左右ボタンでカーソルを移動、上下ボタンで表示を変更して端子出力1〜8の内、5秒前に動作させたい端子の番号のみ表示させてから決定(設定)ボタンを押してください。
(※工場出荷状態では未登録のため、番号は表示されていません)

〈ﾌﾟﾘ(5秒前)通信出力設定〉
ﾌﾟﾘ通信　⇒ [1/2/3/4/5/6/7]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ ON/OFF



カーソルを移動



▲▼設定したい番号のみを表示

④同様にして、通信出力1〜7の内、5秒前に動作させたい通信機器の番号のみ表示させてから決定(設定)ボタンを押してください。
(※工場出荷状態では未登録のため、番号は表示されていません)

〈ﾌﾟﾘ(5秒前)出力設定完了〉
ﾌﾟﾘ端子　⇒ 1/7
ﾌﾟﾘ通信　⇒ 3/6

例)
プリ端子1と7を設定時
プリ通信3と6を設定時

⑤登録した出力先が表示された後、数秒後に自動的に基本設定メニューに戻ります。

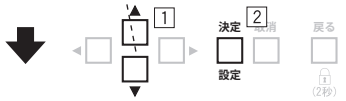
◎この時点で初めて端子及び通信の両出力についての設定が登録されます。

⑥復帰動作設定

●停電復帰後のタイマー動作状態を設定します。停電からの復帰時に自動的にタイマー動作を再開させたい場合は動作ON状態に、 一旦停止させて手動でタイマー動作を再開したい場合は動作OFF状態に設定してください。

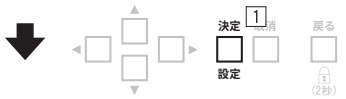
●工場出荷状態では復帰動作設定は動作ON状態になっています。設定を変更する場合は下記の手順をご参照ください。動作の詳細については11、12頁の「復帰動作と出力設定保持について」をご覧ください。

【1】基本設定
6．復帰動作設定
▲▼メニュー



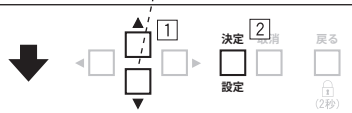
①基本設定メニューの中から『6、復帰動作設定』を選択して決定（設定）ボタンで次に進みます。

〈復帰動作設定〉
停電後等の電源投入時における
ﾀｲﾏｰ動作の状態を設定します



②復帰動作設定の内容が表示されますので、内容を確認してから決定（設定）ボタンを押してください。

〈復帰動作設定〉
⇒［動作OFF状態］
▲▼設定



③上下ボタンで設定を選択してから決定（設定）ボタンを押してください。

〈復帰動作設定完了〉
停電復帰後は
ﾀｲﾏｰOFF状態になります

④設定した内容が表示された後、数秒後に自動的に基本設定メニューに戻ります。

●ご注意　・復帰動作設定は停電前にタイマー動作状態がONだった場合にのみ有効です。タイマー動作状態がOFFだった場合は復帰動作設定に関わらず、タイマー動作OFF状態で復帰します。

□復帰後の表示について

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年 01月04日
未選択　09：30（月）

時刻／曜日表示が点滅

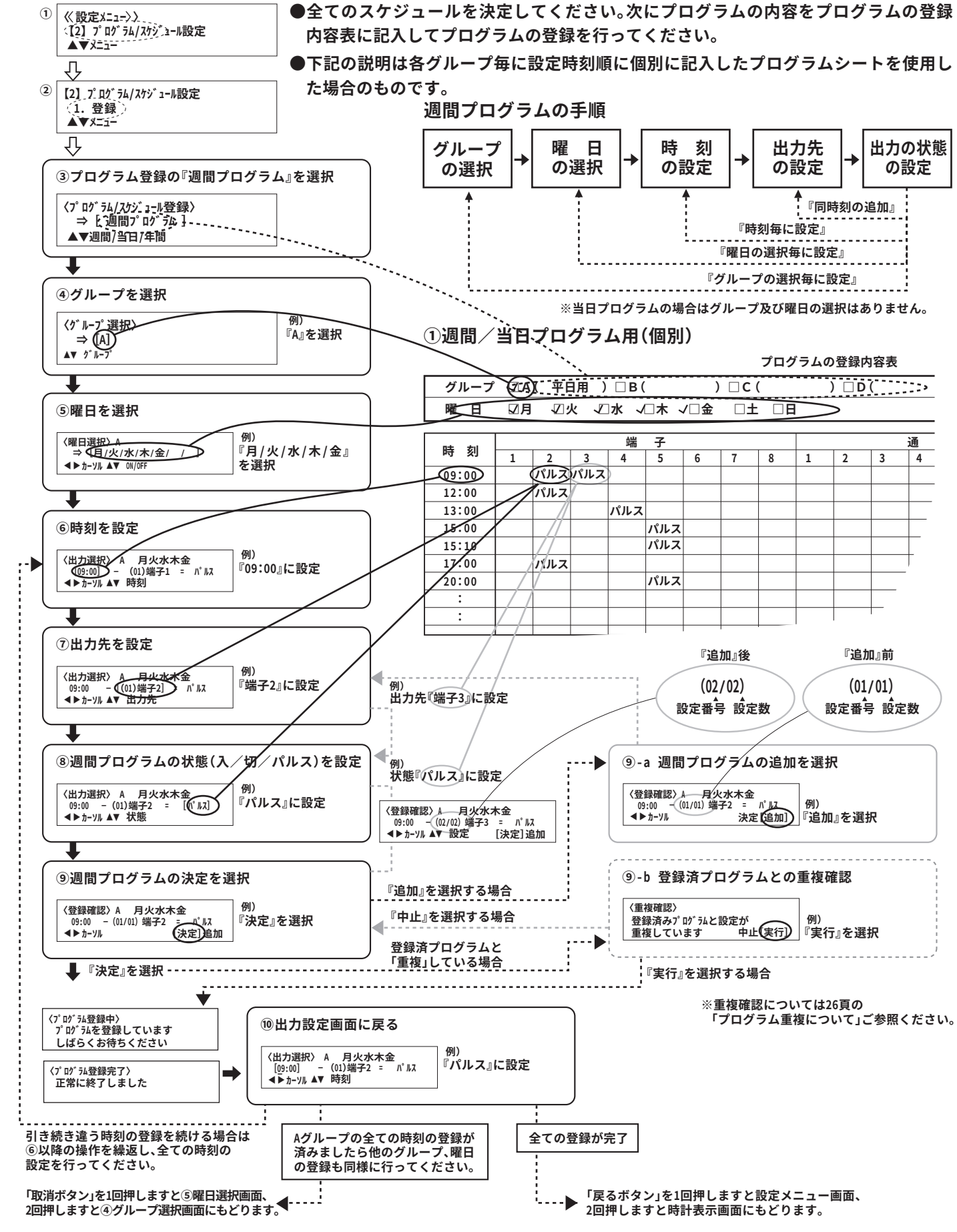
○約3秒以上停電してから復帰した場合、時計画面が表示され、いずれかのボタンを押すまで時刻／曜日表示が点滅します。（タイマー動作は通常通りに動作します。タイマー動作ON時に動作プログラムが設定されている場合は動作準備中表示の後にこの画面になります。）（電源ON時に本機は動作準備に30秒要します。その間はプログラム出力が起動しません。）

プログラムの登録

• プログラムの登録の概要

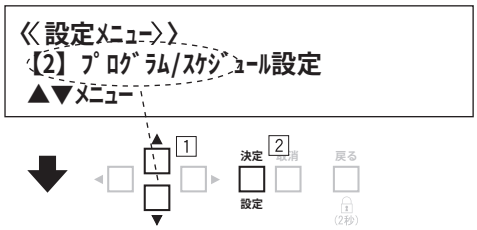
●全てのスケジュールを決定してください。次にプログラムの内容をプログラムの登録内容表に記入してプログラムの登録を行ってください。

●下記の説明は各グループ毎に設定時刻順に個別に記入したプログラムシートを使用した場合のものです。

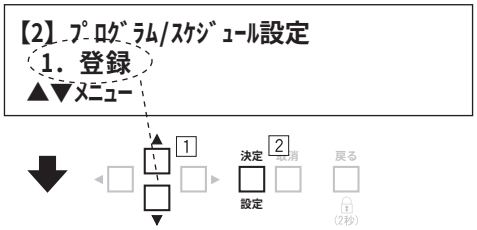


② プログラムの登録

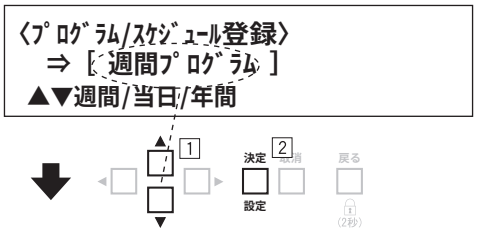
●下記手順を参考にして、週間プログラムや当日プログラムの設定を行ってください。その他の機能を活用して登録作業を行いたい場合は、別途45頁の『プログラム／スケジュールの編集』や52頁の『SDカード操作』をご参照ください。



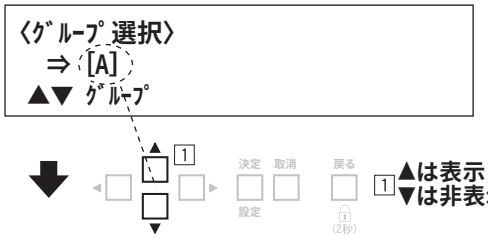
①設定メニューにおいて上下ボタンでメニューを変更し、『【2】プログラム/スケジュール設定』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。



②設定メニュー画面が表示されますので『1、登録』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。

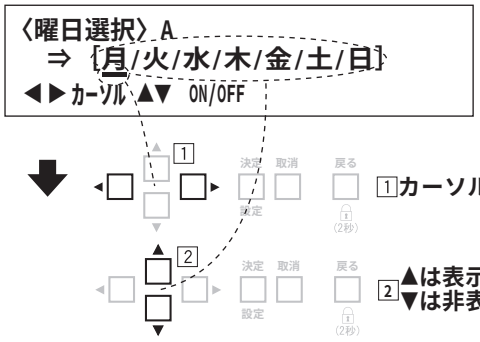


③プログラム登録メニュー画面が表示されますので上下ボタンで登録したいプログラムを選択して決定（設定）ボタンを押してください。

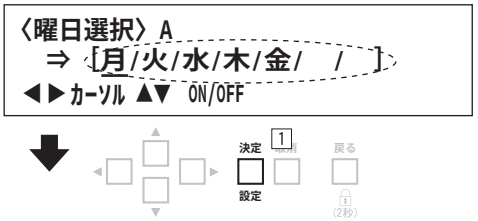


④週間プログラムの場合はグループ選択画面が表示されますので、上下左右ボタンで設定したいグループを表示して、決定（設定）ボタンを押してください。
※当日プログラムの登録時は、グループの選択は不要のため、この画面はスキップします。

◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムの登録はできません。



⑤週間プログラムの場合は、曜日選択画面が表示されますので上下左右ボタンで設定したい曜日を表示してください。（複数選択可能です。）
※当日プログラムの登録時は、曜日の選択は不要のため、この画面はスキップします。



⑥設定したい曜日のみを表示させて、決定（設定）ボタンを押してください。

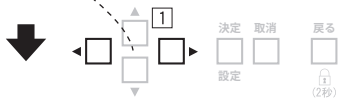
次頁へ続く

プログラムの登録

〈出力選択〉 A　月火水木金
[00:00] － (01)端子1 ＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻

設定中の曜日は画面上に表示されます。

⑦出力選択画面が表示されますので上下左右ボタンで設定したい時刻にあわせてください。

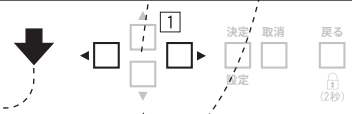


カーソルを移動

▲▼設定したい時刻を表示

〈出力選択〉 A　月火水木金
09:00 － [(01)端子1] ＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

⑧左右ボタンでカーソルを移動させて上下ボタンで設定したい出力先にあわせてください。



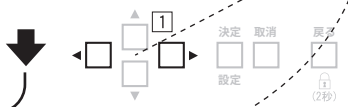
カーソルを移動

▲▼設定したい出力先を表示

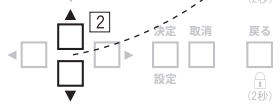
通信出力の場合

〈出力選択〉 A　月火水木金
09:00 － (01)端子2 ＝ [ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 状態

⑨左右ボタンでカーソルを移動させて上下ボタンで設定したい状態（入／切／パルス）にあわせてください。



カーソルを移動

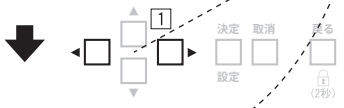


▲▼設定したい状態を表示

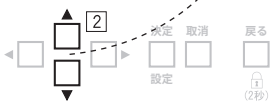
通信出力の場合

〈出力選択〉 A　月火水木金
09:00 － (01)通信1 ＝ [CH01]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 状態

通信1～7を設定する場合は、チャンネルをCH01～CH99の範囲で選択してください。
左右ボタンでカーソルを移動させて状態（チャンネル）を上下ボタンで設定してください。



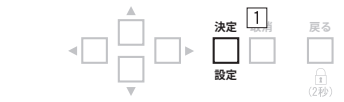
カーソルを出力先に移動



▲設定したい
▼状態（チャンネル）を表示

〈出力選択〉 A　月火水木金
09:00 － (01)端子2 ＝ [ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 状態

⑩出力内容（時刻、出力先、状態）の設定後、決定（設定）ボタンを押してください。



次頁へ続く

〈登録確認〉A　月火水木金
09:00　－(01/01) 端子2　=　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ　[決定]追加

⑪登録確認画面が表示されますのでこのプログラムの登録を決定する場合はカーソルを『決定』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。(この時点で初めて本機のメモリーにプログラムの登録を行います。)同じ時刻に他の出力も設定する場合は『追加』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

決定の場合

追加の場合

追加の場合

〈登録確認〉A　月火水木金
09:00　－(01/01) 端子2　=　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ　決定[追加]

〈出力選択〉A　月火水木金
09:00　－[(02)端子3]　=　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

『追加』にあわせて決定(設定)ボタンを押し、登録手順⑧の設定へ戻って、同様の操作を繰り返し追加の設定を行ってください。

カーソルを出力先に移動

▲▼設定したい出力先を表示

・出力設定は登録/修正確認画面に移行する際に、自動的に下記の順番で設定番号が割りつけられてソートされます。
設定番号順序 ： 端子1 < 端子2 < … < 端子8 < 通信1 < 通信2 < … < 通信8
※プログラム修正時も同様です。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ登録中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを登録しています
しばらくお待ちください

⑫登録確認画面で決定を選択して決定(設定)ボタンを押すと登録処理が実行されます。
◎登録済プログラムと重複している場合は重複確認画面に移行します。(26頁「プログラム重複について」参照)

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ登録完了〉
正常に終了しました

⑬登録処理が終了しますと、左の画面が表示され、自動的に出力選択画面まで戻ります。

〈出力選択〉A　月火水木金
[09:00]　－(01)端子2　=　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻　[決定]追加

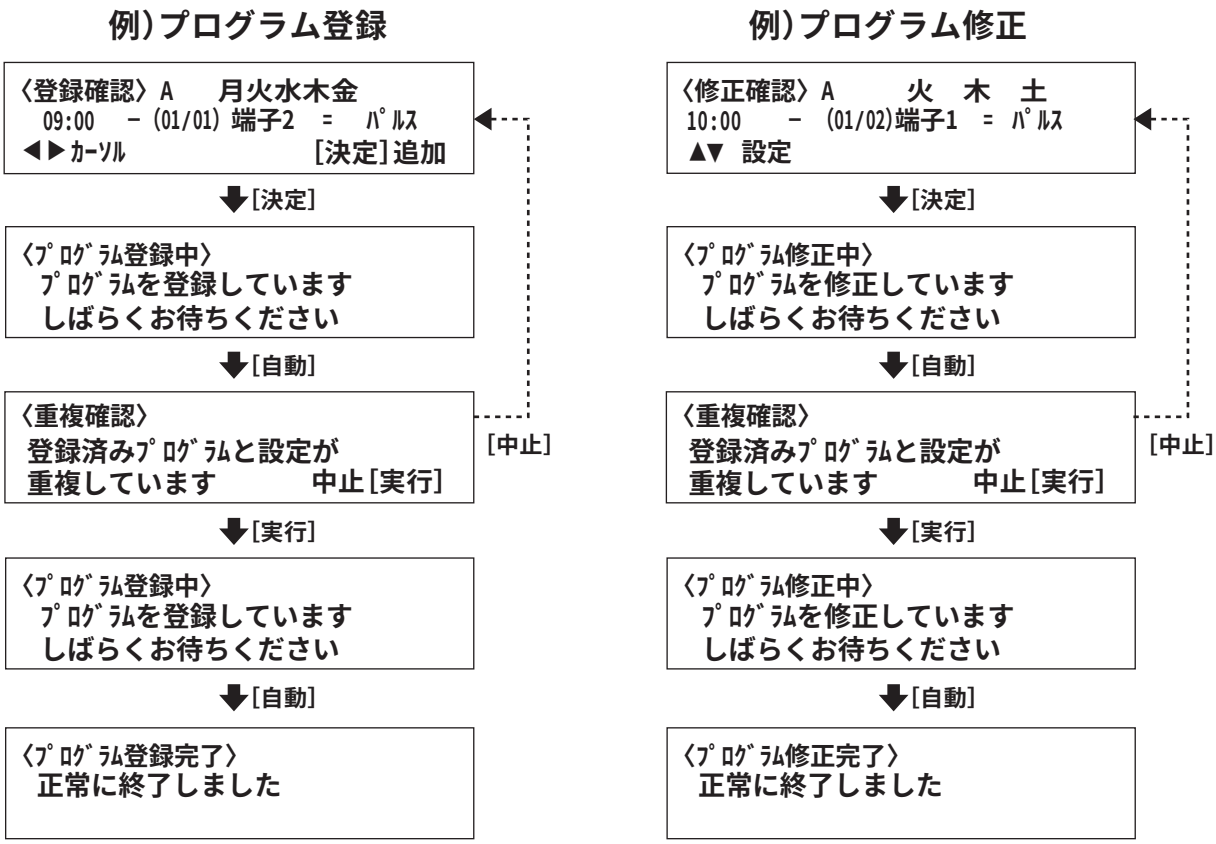
最後に設定した時刻と出力設定が表示されます。(複数設定していた場合は設定番号が最も若い出力設定が表示されます。)

⑭引き続き他の登録作業を続けてください。
◎取消ボタンを押すごとに曜日選択→グループ選択画面→…にもどります。

プログラムの登録

③プログラム重複について

●プログラムの登録／修正時に、下図の様な「<重複確認>」表示がされることがあります。この表示があった場合に処理を実行すると、新しく登録/修正したプログラムによって登録済みのプログラムが一部削除(上書き)されることを示します。登録/修正完了後に結果を確認することを推奨します。



■重複時の登録／修正結果について

●新しく登録/修正したプログラムと同じ時刻/曜日に登録済みのプログラムがあった場合に、同じ出力先で異なる状態が設定されていると、下記の様に登録後のプログラムが決まります。

例）登録済みプログラム

9:00 - (01/03)端子1 = 入
9:00 - (02/03)端子2 = 入
9:00 - (03/03)通信1 = CH01

↓

後から登録/修正したプログラム

9:00 - (01/03)端子1 = ﾊﾟﾙｽ
9:00 - (02/03)端子3 = ﾊﾟﾙｽ
9:00 - (03/03)通信1 = CH02

↓

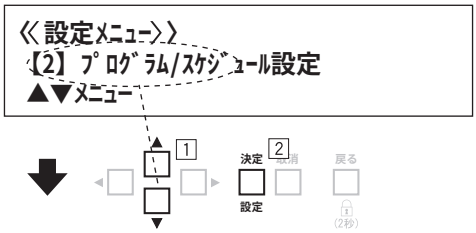
登録/修正後の合成されたプログラム

9:00 - (01/04)端子1 = ﾊﾟﾙｽ	後から登録/修正したプログラムが上書き登録になる
9:00 - (02/04)端子2 = 入	重複していない為、追加登録になる
9:00 - (03/04)端子3 = ﾊﾟﾙｽ	重複していない為、追加登録になる
9:00 - (04/04)通信1 = CH02	後から登録/修正したプログラムが上書き登録になる

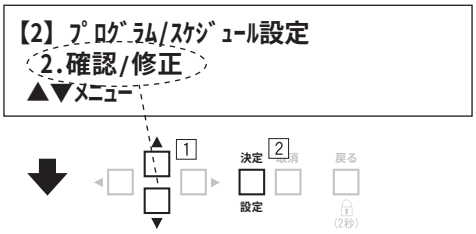
④プログラムの確認

●下記手順を参考にして、登録したプログラムの確認を行ってください。異常なプログラムが登録されていないかも確認できますので、登録や修正後には一度確認されることをお勧めします。確認時に修正が必要なプログラムが見つかった場合は、38頁の『プログラム修正について』を参照して、プログラムの修正を行ってください。

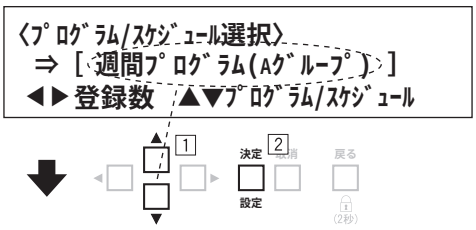
確認モード	詳細
時刻順モード	設定時刻順に指定したグループのプログラムを全て表示します。全てのプログラムを確認したい時に選択してください。
曜日指定モード	設定時刻順に指定した曜日を含むプログラムのみを表示します。特定の曜日についてのみ確認したい時に選択してください。(週間プログラムの場合のみ、このモードを選択できます。)
曜日/出力先指定モー	設定時刻順に指定した曜日の指定した出力先の設定を含むプログラムのみを表示します。特定の出力先についてのみ確認したい時に選択してください。



①設定メニューにおいて上下ボタンでメニューを変更し、『【2】プログラム/スケジュール設定』を選択して決定(設定)ボタンを押してください。



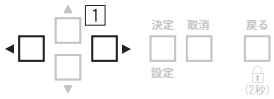
②設定メニュー画面が表示されますので『2、確認／修正』を選択して決定(設定)ボタンを押してください。



③プログラム/スケジュール選択画面が表示されますので上下ボタンで確認したいプログラムを選択して決定(設定)ボタンを押してください。

□プログラム登録数の確認について

〈登録数確認〉A　　[戻る]
月:00　火:00　水:00　木:00
金:00　土:00　日:00　各最大：50



プログラム	最大登録数
週間プログラム (A～D)	各曜日毎に 50 (1グループ合計 350)
当日プログラム	100
年間スケジュール	30

○プログラム/スケジュール選択画面で左右ボタンを押しますと、現在のプログラム登録数が、それぞれ確認できます。

○各プログラムの登録数を確認する場合は、プログラム/スケジュール選択画面において確認したいプログラムを選択して左右ボタンを押してください。プログラム登録数の確認画面が表示されます。

プログラムの確認

時刻順モードの場合

〈確認ﾓｰﾄﾞ選択〉 A
⇒［ 時刻順ﾓｰﾄﾞ ］
▲▼ﾓｰﾄﾞ

④確認モード選択画面において、上下ボタンで時刻順（全表示）モードを選択して、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ読み込み中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを確認しています
しばらくお待ちください

読み込み時間は選択したプログラムの登録数に比例します。

⑤左の画面が表示され、プログラムの読み込み処理が開始された後、自動的にプログラム確認画面に移行します。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉 A　月火水木金土日
［10:00］ー（01/02）端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻　［修正］

プログラム確認画面-1
決定（設定）ボタンを押すと修正選択画面に変わります。

⑥時刻にカーソルを合わせ上下ボタンを押しますと、他の時刻に登録されているプログラムを表示します。

カーソルを時刻に移動

▲ 他の時刻に登録されている
▼ プログラムを表示

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉 A　月火水木金土日
10:00　ー［（01/02）端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ］
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　［修正］

プログラム確認画面-2
決定（設定）ボタンを押すと修正選択画面に変わります。

⑦左右ボタンでカーソルを移動させて出力先および出力状態にカーソルを合わせ上下ボタンを押しますと、同時刻に登録されている他の出力先と出力状態を表示します。

カーソルを出力先
および出力状態に移動

▲ 同時刻に登録されている
▼ 他の出力先と出力状態を表示

⑧他のプログラム内容を確認する場合は取消ボタンを押すごとに→〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉→〈確認モード選択〉→〈曜日選択〉→……とそれぞれの画面に戻ります。必要な画面に戻って確認を続けてください。

・確認が終了しましたら戻るボタンを1回押しますと〈〈設定メニュー 〉〉画面に戻ります。もう1回押しますと時計表示画面に戻ります。

◎プログラム確認画面に表示中のプログラムを修正する場合は、決定（設定）ボタンを押しますと修正選択画面に変わります。詳しくは38頁「プログラムの修正」をご覧ください。

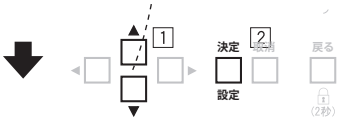
曜日指定モードの場合

〈確認ﾓｰﾄﾞ選択〉 A
⇒［曜日指定ﾓｰﾄﾞ］
▲▼ ﾓｰﾄﾞ

④確認モード選択画面において、上下ボタンで曜日指定モードを選択して決定（設定）ボタンを押してください。

次頁へ続く

〈曜日選択〉A
⇒ A －[月]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 曜日



▲▼確認したい曜日を表示

⑤上下ボタンで確認したい曜日を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ読み込み中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを確認しています
しばらくお待ちください

読み込み時間は選択したプログラムの登録数に比例します。

⑥左の画面が表示され、プログラムの読み込み処理が開始された後、自動的にプログラム確認画面に移行します。

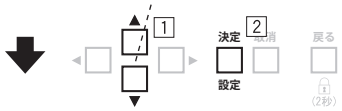
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉 A 月火水木金土日
10:00 －[(01/02)端子1 ＝ ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [修正]

プログラム確認画面
決定（設定）ボタンを押すと修正選択画面に変わります。

⑦確認画面での操作は時刻順設定モードと同様です。前頁⑥⑦⑧をご覧ください。

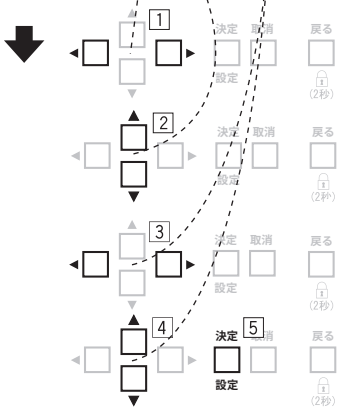
曜日/出力先指定モードの場合

〈確認ﾓｰﾄﾞ選択〉 A
⇒ [曜日/出力先指定ﾓｰﾄﾞ]
▲▼ﾓｰﾄﾞ



④確認モード選択画面において、上下ボタンで曜日／出力先指定モードを選択して、決定（設定）ボタンを押してください。
※当日プログラムの場合は［出力先指定モード］が相当します。

〈出力先選択〉
⇒ A －[月] －[端子1]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 曜日



カーソルを曜日に移動

▲▼確認したい曜日を表示

カーソルを出力先に移動

▲▼確認したい出力先を表示

⑤左右ボタンでカーソルを移動させ、上下ボタンで確認したい曜日と出力先を表示させて、決定（設定）ボタンを押してください。
※当日プログラムの場合は出力先のみを選択します。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ読み込み中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを確認しています
しばらくお待ちください

読み込み時間は選択したプログラムの登録数に比例します。

⑥左の画面が表示され、プログラムの読み込み処理が開始された後、自動的にプログラム確認画面に移行します。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A 月火水木金土日
[10:00] －(01/02) 端子1 ＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻 [修正]

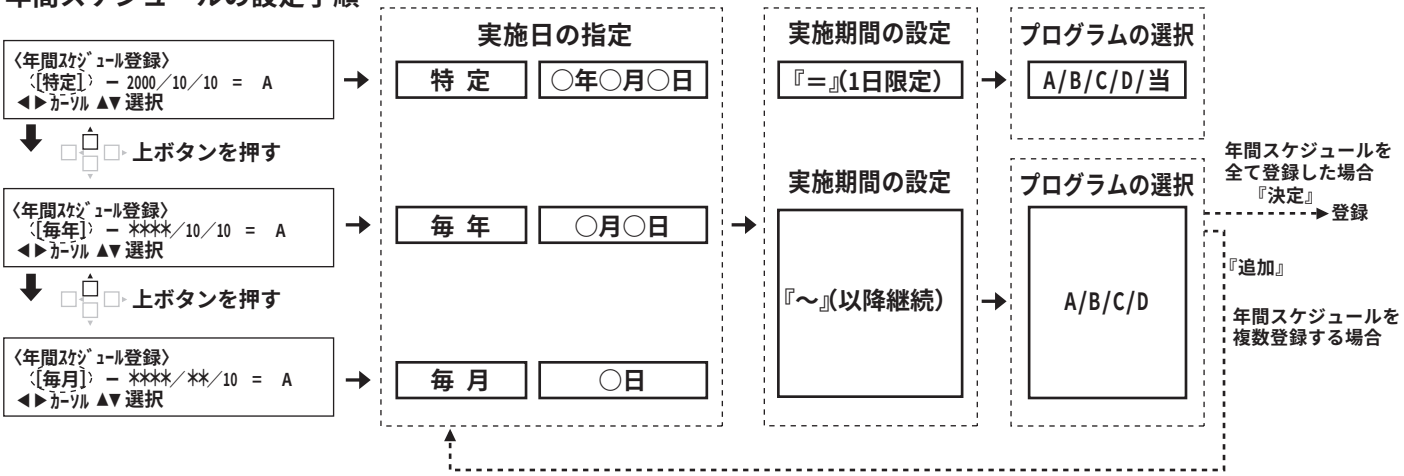
プログラム確認画面
決定（設定）ボタンを押すと修正選択画面に変わります。

⑦確認画面での操作は曜日指定モードと同様です。前頁⑥⑦⑧をご覧ください。

年間スケジュール

●指定の日に動作プログラム（A/B/C/D/当日）の切り替えを行う場合は、年間スケジュールの登録（最大30件）を行ってください。
●年間スケジュールの『特定』は1日限り、『毎年』は年に1日、『毎月』は月に1日それぞれ指定した日に指定したプログラムへ変更が行えます。
●変更したプログラムの動作は『＝』（1日限定）と『～』（以降継続）が選択できますので、年間を通じて自動的に動作プログラムの変更が行えます。（『1日限定』のときのみ、変更するプログラムに当日プログラムを選択できます。）

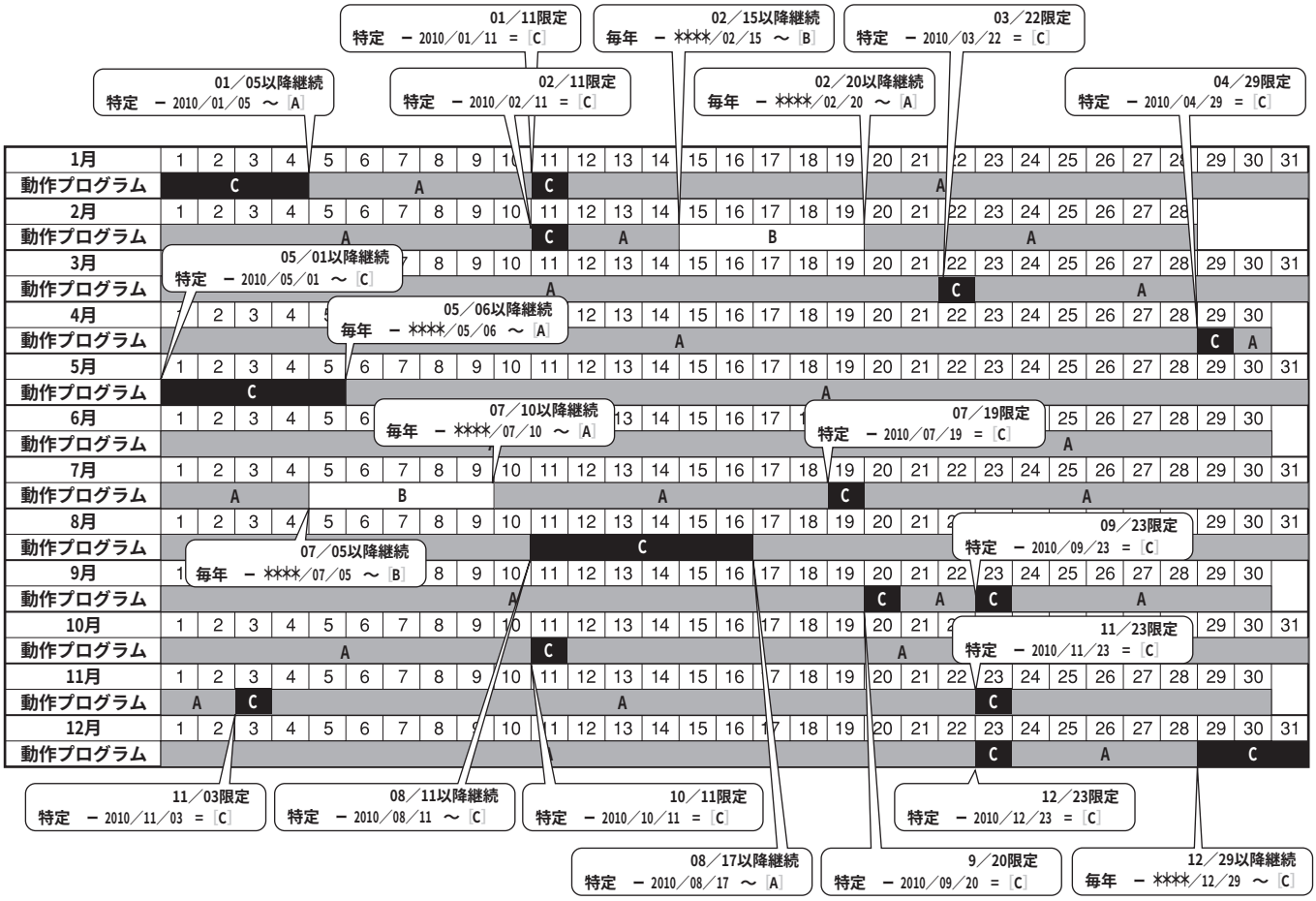
年間スケジュールの設定手順



年間スケジュールの設定例

A ……通　常（土日の休日含む）
B ……特定日
C ……休　日（土日の休日以外）
D ……予　備

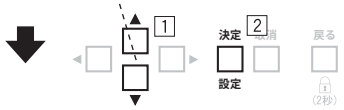
●下図は1年間の年間スケジュールの設定例です。プログラム『A』は平日（月～金）に動作する通常用です。土日以外の祝祭日などの休日用として何も動作しない未登録のプログラム『C』を利用しています。プログラム『B』は特定日用として、プログラム『D』は他の用途に利用できます。



●動作プログラムの変更を手動では無く、事前に登録しておいて自動で処理させたい場合は、下記手順を参考にして、年間スケジュールの登録を行ってください。手動で設定する場合は35頁「プログラム動作の開始/停止」をご覧ください。

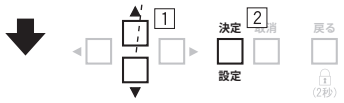
①年間スケジュールの登録

【2】ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ設定
1.　登録
▲▼ﾒﾆｭｰ



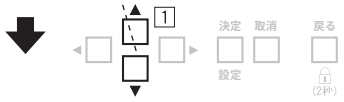
①プログラム/スケジュール設定メニューにおいて上下ボタンで『1、登録』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録〉
⇒ [年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ]
▲▼週間/当日/年間



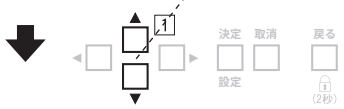
②プログラム登録メニューにおいて上下ボタンで『年間スケジュール登録』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録〉
[特定]　ー 2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼選択



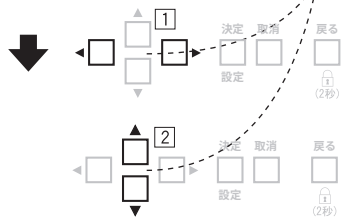
③年間スケジュールの登録画面が表示されますので上下ボタンで『特定』か『毎年』か『毎月』を選択してください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録〉
特定　ー[2010／10／10]　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼日付



④左右ボタンでカーソルを移動し、上下ボタンで日付を選択してください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録〉
特定　ー 2010／10／10　[=]　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼=／～（限定／以降）

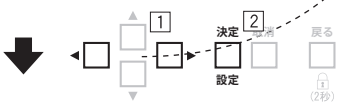


週間プログラムへの変更の場合は『＝』（1日限定）と『～』（以降継続）から選択できますが、当日プログラムへの変更の場合は『＝』のみの選択になります。

⑤左右ボタンでカーソルを移動し、上下ボタンで動作プログラムの変更内容を選択してください。

◎『＝』と『～』の違いについては10頁の「年間スケジュール」や33頁の「例」をご参照ください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録〉
特定　ー 2010／10／10　=　[A]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ｸﾞﾙｰﾌﾟ

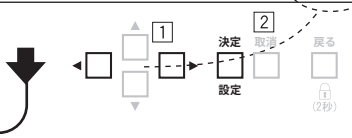


⑥左右ボタンでカーソルを移動し、上下ボタンで変更するグループ（A、B、C、D、当）を選択し決定（設定）ボタンを押してください。

次頁へ続く

年間スケジュール

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録確認〉
(01/01)　2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ　[決定]追加

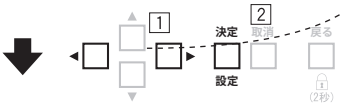


追加の場合

⑦年間スケジュールの登録確認画面が表示されますので、登録処理を実行する場合はカーソルを『決定』にあわせて決定（設定）ボタンを押してください。

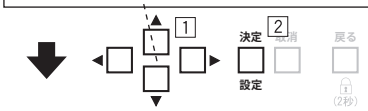
追加の場合

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ　登録確認〉
(01/01)　2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ　決定[追加]



⑧追加登録を行う場合は、左右ボタンでカーソルを移動し、カーソルを『追加』に合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

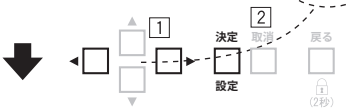
〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ　登録〉
[特定]　2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼選択



処理時間は登録時と異なり、短時間です。

⑨新たに上下左右ボタンで登録したい内容を選択し、同様の操作を繰り返し行ってください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 登録確認〉
(02/02)　2010／10／20　=　B
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼設定　[決定]追加



⑩さらに追加する場合はカーソルを『追加』にあわせて同様の入力を繰り返し、登録処理を実行する場合はカーソルを『決定』にあわせて、決定（設定）ボタンを押してください。

・スケジュール設定は登録/修正確認画面に移行する際に、自動的に日付順で設定番号が割りつけられてソートされます。

※スケジュール修正時も同様です。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録完了〉
正常に終了しました

⑪瞬時にスケジュール登録処理が実行されて左の画面が表示され、数秒後にスケジュール登録メニューに戻ります。

●ご注意　・タイマー動作ON時に年間スケジュールを登録/修正しますと、現在の動作状態が変更されて意図しない動作をすることが考えられます。事前に確認するか、タイマー動作OFF状態でのスケジュール登録/修正を推奨致します。

■年間スケジュールに対する手動での動作プログラム設定

●年間スケジュールを登録/修正（変更/削除）しますと、手動で設定された動作プログラムは取り消され、年間スケジュール通りの動作プログラムに変更されます。

例）2010/02/01に手動で動作プログラムを『A』としていた場合に、『毎年01/01　～　B』という年間スケジュールを登録すると動作プログラムが『B』に変更されます。
（『毎年○月○日～○』や『毎月○日～○』のスケジュールは、現在日より過去の日付から適用されます。）

●年間スケジュールを登録/修正後に手動で以降の動作プログラムを変更した場合は、再度手動で変更するか、次に年間スケジュールが設定された日付になるまで、手動で選択した動作プログラムのままです。

例）『毎年01/01　～　B』という年間スケジュールで2010/02/01に動作プログラムが『B』となっていた場合に手動で動作プログラムを『A』に変更すると、翌年の01/01まで動作プログラムは『A』のままです。

■年間スケジュールの優先順位

●年間スケジュールが複数登録されている場合に同じ日付の動作変更が重複したときは下記の優先順位の一番高い年間スケジュールが実行されます。

『○年○月○日　＝　○』 ▲ 高
『毎年○月○日　＝　○』
『毎月○日　＝　○』
『○年○月○日　～　○』　優先順位
『毎年○月○日　～　○』
『毎月○日　～　○』 ▼ 低

※『＝』(1日限定)と『～』(以降継続)のスケジュールが同じ日付に登録されている場合、その日付の動作プログラムは『＝』で設定されたプログラムになり、次の日以降は『～』で設定されたプログラムになります。
(下表参照)

例) 2010/01/01に動作プログラムが『未選択』の時に下記スケジュールを登録した場合

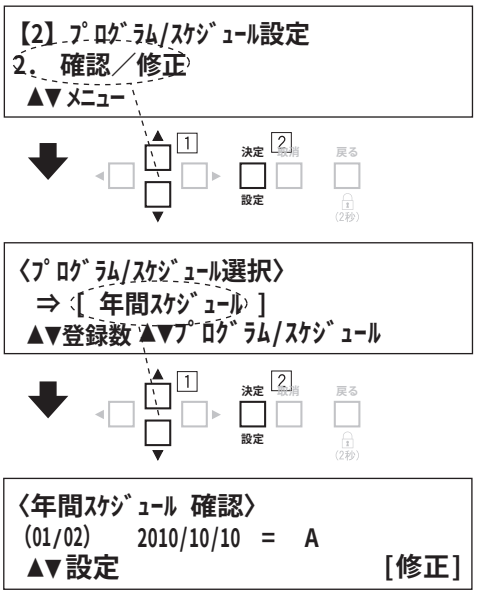
	登録スケジュール
1	(01/04) 2010/01/02 ＝ A
2	(02/04) 2010/01/02 ～ B
3	(03/04) 毎 月 2 日 ～ C
4	(04/04) 2010/01/03 ＝ 当

月/日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6		1/31	2/1	2/2	2/3
動作プログラム		A									
		B	B	B	B	B		B	B	B	B
	C	C	C	C	C	C		C	C	C	C
			当								

登録後の動作プログラム

年/月/日	設定	動作プログラム
2010/01/01	C(翌日⇒A)	1 によって翌日の動作プログラムが『A』に設定される(3は優先順位により無視される) 3 によって現在の動作プログラムが『C』に設定される
2010/01/02	A(翌日⇒当)	2 によって翌日以降は『B』だが、4によって01/03のみ『当』に設定される
2010/01/03	当(翌日⇒B)	2 によって設定されていた『B』が翌日の動作プログラムに設定される
2010/01/04	B	以降、『B』が動作プログラムに継続して設定されたままになる
⋮		
2011/02/01	B(翌日⇒C)	2 によって翌日の動作プログラムが『C』に設定される
2011/02/02	C	以降、『C』が動作プログラムに継続して設定されたままになる

②年間スケジュールの確認



①プログラム/スケジュール設定メニューにおいて上下ボタンで『2、確認/修正』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

②プログラム/スケジュール選択メニューにおいて上下ボタンで年間スケジュールを選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

③年間スケジュールの確認画面が表示されます。複数登録されている場合は上下ボタンで他のスケジュールを表示します

年間スケジュール

③年間スケジュールの修正

●年間スケジュールの修正では、スケジュールの変更と削除処理が可能です。

〈年間ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 確認〉
(01/02)　2010／10／10　=　A
▲▼設定　　[修正]

①年間スケジュールの確認画面において修正したいスケジュールを表示させた状態で決定(設定)ボタンを押してください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ修正選択〉
(01/02)　ー 2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼設定　　[削除][変更]

この状態でも上下ボタンで表示スケジュールの変更は可能です

②年間スケジュールの修正選択画面が表示されます。スケジュールを変更する場合はカーソルを『変更』にあわせて、プログラムを削除する場合は『削除』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

変更

削除の場合

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ個別削除〉
(01/02)　2010／10／10　⇒　削除
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼設定　　中止[実行]

この状態でも上下ボタンで表示スケジュールの変更は可能です

③カーソルを『実行』にあわせて再度、決定(設定)ボタンを押すと削除を実行します。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ修正完了〉
正常に終了しました

修正処理は瞬時に行われ、すぐに修正完了画面が表示されます

④瞬時にスケジュール修正処理が実行されて左の画面が表示され、数秒後にプログラム/スケジュール選択メニューに戻ります。

変更の場合

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 変更〉
[特定]　ー 2010／10／10　=　A
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼選択

③年間スケジュールの変更画面が表示されます。登録時と同様に左右ボタンでカーソルを移動、上下ボタンで内容を変更し、決定(設定)ボタンを押してください。

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ 変更確認〉
(01/02)　2010／12／25　=　A
▲▼設定

この状態でも上下ボタンで表示スケジュールの変更は可能です

④年間スケジュールの変更確認画面が表示されます。登録時と同様に内容を確認してから決定(設定)ボタンを押してください

〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ修正完了〉
正常に終了しました

修正処理は瞬時に行われ、すぐに修正完了画面が表示されます

⑤瞬時にスケジュール修正処理が実行されて左の画面が表示され、数秒後にプログラム確認画面に戻ります。

動作プログラムの手動設定

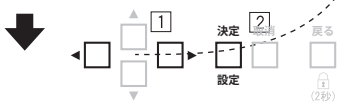
①動作プログラムの設定

●本機は工場出荷状態でプログラム『未選択』、タイマー動作OFF状態に設定されています。タイマー動作を開始するには、登録したプログラムを動作プログラムに設定してください。下記の様に手動で動作プログラムを設定する際には、 直ちに動作プログラムを設定(変更)する他に翌日から設定(変更)することもできますので、前日に次の日の動作プログラムを設定しておくことも可能です。

動作プログラムの設定(即時)

◎タイマー動作ON時はプログラム設定中(登録/修正/一括コピー/一括削除など)のプログラムを動作プログラムには設定できません。

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ A 〉
変更のﾀｲﾐﾝｸﾞを選択してください
◀▶ｶｰｿﾙ [即時] 翌日



①現在設定されているプログラムと異なるプログラムボタンを押しますと、該当するプログラムへの動作変更画面が表示されます。左右ボタンで『即時』を選択し、決定(設定ボタン)を押してください。

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ A 〉
Aｸﾞﾙｰﾌﾟのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに設定しました

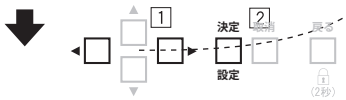
②動作変更内容が表示され、数秒後に自動的に元の画面に戻ります。

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年01月04日
A 09:30(月)

③選択後は時計画面に選択したプログラムが表示されます。以降、タイマー動作ON状態では選択したプログラムの動作が実行されます。

動作プログラムの設定(翌日)

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ A 〉
変更のﾀｲﾐﾝｸﾞを選択してください
◀▶ｶｰｿﾙ 即時 [翌日]



①現在設定されているプログラムと異なるプログラムボタンを押しますと、該当するプログラムへの動作変更画面が表示されます。左右ボタンで『翌日』を選択し、決定(設定ボタン)を押してください。

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ A 〉
Aｸﾞﾙｰﾌﾟのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
翌日の動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに設定しました

②動作変更内容が表示され、数秒後に自動的に元の画面に戻ります。

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年01月04日
無(翌日⇒A) 09:30(月)

③選択後は時計画面に選択したプログラムが表示されます。日付が変わると同時に動作プログラムが選択したプログラムに自動的に変更されます。

●ご注意
・翌日から動作プログラムを変更してタイマー動作を開始する場合は、タイマー動作ON状態にしておいてください。タイマー動作OFF状態ですと、翌日からのプログラム動作も実行されません。(プログラムが選択されており、かつ、タイマー動作ON状態の場合にのみプログラム動作が実行されます。尚、選択されているプログラムが設定未登録の場合は、タイマー動作ON状態でも何も実行されません。)
・日付変更前1分間は、動作プログラムの設定/解除はできませんので、自動的に直前の画面に戻るエラー画面が表示されます。いずれかのボタンを押して直前の画面に戻り、時間をずらしてから動作プログラムの設定/解除を行ってください。

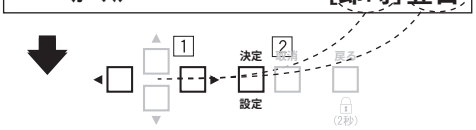
動作プログラムの手動設定

②動作プログラムの解除

●現在及び翌日の動作プログラム設定を取消す場合は、下記の手順を参考にして動作プログラムの解除を行ってください。(設定時と同様に、直ちに動作プログラムを解除するか翌日に解除するか選択できます。)動作プログラムの設定を残したままタイマー動作を実行させたくない場合は、タイマー動作ボタンを押してタイマー動作OFF状態にしてください。

動作プログラムの解除

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ解除〉
解除のﾀｲﾐﾝｸﾞを選択してください
◀▶ｶｰｿﾙ　[即時]翌日



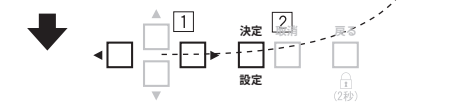
〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ解除〉
Aｸﾞﾙｰﾌﾟのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑから解除しました

①現在設定されているプログラムと同じプログラムボタンを押しますと、該当するプログラムの動作解除画面が表示されます。左右ボタンで解除のタイミングを選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

②動作変更内容が表示され、数秒後に自動的に元の画面に戻ります。

翌日の動作プログラム変更の取消

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ変更取消〉
翌日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ変更を取消します
◀▶ｶｰｿﾙ　中止[実行]



〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ変更取消〉
翌日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ変更を取消しました

①翌日に設定されているプログラムまたは翌日に解除されるプログラムと同じプログラムボタンを押しますと、該当するプログラムの変更取消画面が表示されます。左右ボタンで『実行』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

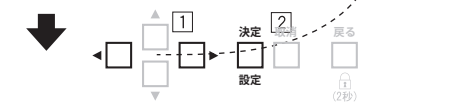
②動作変更内容が表示され、数秒後に自動的に元の画面に戻ります。

当日プログラムの場合

●当日プログラムは1日限定の動作プログラムですので、即時設定の際には現在の動作プログラムが当日プログラムに設定され、翌日設定の際には翌々日に元の動作プログラムに戻ります。

■即時設定の場合

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ 当 〉
変更のﾀｲﾐﾝｸﾞを選択してください
◀▶ｶｰｿﾙ　[即時]翌日



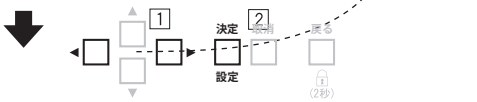
〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ 当 〉
当日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに設定しました

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》　2010年01月04日
当(翌日⇒A)　09:30(月)

翌日には
Aグループに
設定が戻ります。

■翌日設定の場合

〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ 当 〉
変更のﾀｲﾐﾝｸﾞを選択してください
◀▶ｶｰｿﾙ　即時[翌日]



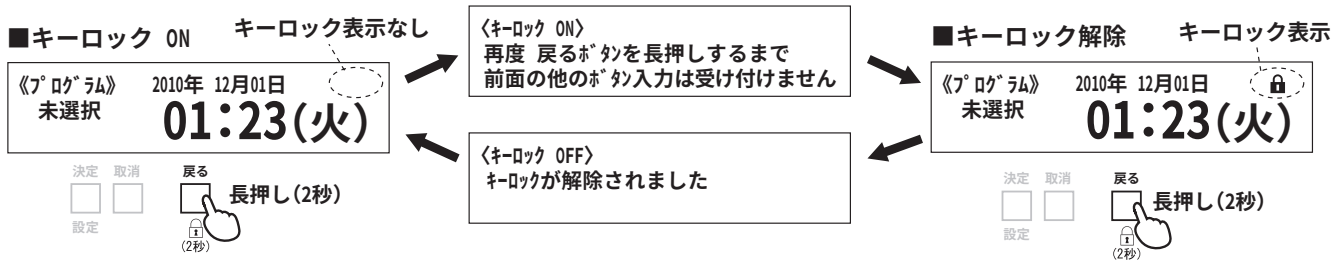
〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ設定 ⇒ 当 〉
当日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
翌日の動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに設定しました

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》　2010年01月04日
A (翌日⇒当)　09:30(月)

翌々日には
Aグループに
設定が戻ります。

キーロックについて

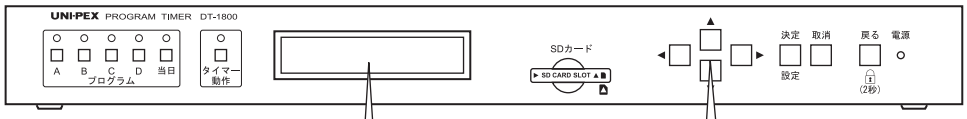
●通常時に戻るボタンを長押ししますと、キーロック状態に切り換わります。また
キーロック時に戻るボタンを長押ししますとキーロック状態が解除されます。



動作表示について

①動作表示概要

●時計画面で上下左右ボタンを押すと、各種の動作状態を確認できます。いずれかのボタンを押すと、時計画面に戻ります。



ここに現在選択しているプログラムが表示されます。

例)
現在の動作プログラムが「A」で翌日に動作プログラムが「B」に切り替わる場合は「A(翌日⇒B)」と表示します。

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010
A(翌日⇒B) 10

①端子状態表示

各出力端子の番号と現在の状態(入／切／パルス)が表示されます。

〈端子状態〉 2010/01/01 10:00:00

1	2	3	4	5	6	7	8
入	切	切	切	切	切	切	切

『入』メークしている状態を表示。
『切』ブレークしている状態を表示。
『パ』パルス出力をしている状態を表示。
(起動後約3秒間、メークしている間だけ表示されます。)

〈前動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ〉『A』 2010/01/01
09:50 −(01/02)端子1 = 入
▶ 時計 ▲▼ 設定

《ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ》 2010年 01月01日
A 10:00(金)

〈次動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ〉『A』 2010/01/01
10:30 −(01/02)端子1 = 切
◀ 時計 ▲▼ 設定

③前動作プログラム表示

タイマー動作ON状態の場合に、直前に実行されたプログラムが表示され、上下ボタンで他の出力先の設定を確認できます。
タイマー動作OFF状態やタイマー動作ON状態にしてからまだプログラムが実行されていない場合はエラー表示画面になりますので、内容を確認後、いずれかのボタンを押して時計画面に戻ってください。
また、10秒間ボタン操作を行わないと自動で時計画面に戻ります。

〈通信状態〉 2010/01/01 10:00:00

1	2	3	4	5	6	7
○	○	×	×	×	×	×

②通信状態表示

通信機器番号と現在の接続状態(○／×／♪)が表示されます。
『○』被制御機器が接続されており、正常に通信が可能な状態を表示。
『×』被制御機器が接続されていないか、通信ができない状態を表示。
『♪』通信により被制御機器が起動した状態を表示。
(起動後約3秒間だけ表示されます。)

④次動作プログラム表示

タイマー動作ON状態の場合に、翌々日までに次に実行されるプログラムが表示され、上下ボタンで他の出力先の設定を確認できます。
タイマー動作OFF状態や動作プログラムが未選択、翌々日までに実行されるプログラムが未登録の場合はエラー表示画面になりますので、内容を確認後、いずれかのボタンを押して時計画面に戻ってください。
また、10秒間ボタン操作を行わないと自動で時計画面に戻ります。

※状態は通信出力の起動時と1分間に1度更新されます。

プログラムの修正

①概要

●プログラム確認時に一部のプログラムだけを修正する必要があった場合などは、下記手順を参考にしてプログラム修正を行ってください。プログラム確認については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

例）修正するプログラム
- 時刻設定： 9:00
- 曜日設定：月火水木金土日
- 出力設定1：端子1 = 入
- 出力設定2：端子2 = 切

決定(設定)ボタンを押す

出力設定1：端子1 = 入

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

出力設定2：端子2 = 切

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
09:00　－[(02/02) 端子2　=　切]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

修正選択

削除

〈修正選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [削除]変更 追加

[削除]を選択して
決定(設定)ボタンを押す

対象選択

全出力

〈対象選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ　[全出力]上記出力

上記出力

〈対象選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ　全出力[上記出力]

修正結果

プログラムの全出力削除
（出力設定1,2を削除）

プログラムの出力設定1のみ削除

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/01) 端子2　=　切]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

修正選択

変更

〈修正選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 削除[変更]追加

[変更]を選択して
決定(設定)ボタンを押す

項目選択

曜日

〈項目選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [曜日]時刻 出力

時刻

〈項目選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 曜日[時刻]出力

出力

〈項目選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 曜日時刻[出力]

修正結果

月火水木金土日→月火木金に変更

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火　木金
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

09:00→10:30に変更

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
[10:30]　－ (01/02) 端子1　=　入
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻　[修正]

端子1 = 入→端子1 = ﾊﾟﾙｽに変更

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－ [(01/02) 端子1　= [ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

修正選択

追加

〈修正選択〉A　月火水木金土日
09:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 削除 変更 [追加]

修正結果

〈出力追加〉A　月火水木金土日
09:00　－ [(03)端子3]　=　入
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

端子3 = ﾊﾟﾙｽ を追加

〈出力追加〉A　月火水木金土日
09:00　－ (03)端子3　= [ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 状態

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
09:00　－[(03/03) 端子3　= ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

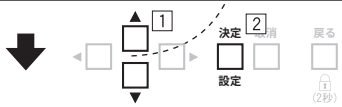
●ご注意
- 『曜日変更』を行う際に、プログラム登録数をオーバーしてしまう場合があります。その場合には変更を行うことができませんので、ご注意ください。
（その他の修正についてはプログラム登録数は増加しません。）
- タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムの修正はできません。

②プログラム修正（削除 → 全出力）

対象時刻のプログラムの全ての出力設定を削除します。

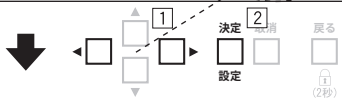
◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　=　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]



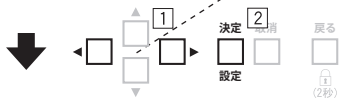
①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定（設定）ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [削除] 変更 追加



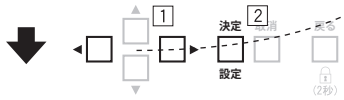
②修正選択画面になりますので左右ボタンで『削除』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈対象選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　=　入]
◀▶ｶｰｿﾙ　[全出力] 上記出力



③対象選択画面になりますので左右ボタンで『全出力』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈削除確認〉A　月火水木金土日
10:00　の出力設定を全て削除します
◀▶ｶｰｿﾙ　中止 [実行]



④確認メッセージが表示されます。カーソルを『実行』に合わせて、決定（設定）ボタンを押しますと全出力の削除が実行されます。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑤プログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示されます。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

⑥処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム確認画面またはプログラム選択画面に戻ります。これで出力設定の削除は完了です。

プログラムの修正

③プログラム修正（削除 → 上記出力）

対象時刻のプログラムの表示している出力設定のみを削除します。

◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定（設定）ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　入]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [削除]変更 追加

②修正選択画面になりますので左右ボタンで『削除』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈対象選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　入]
◀▶ｶｰｿﾙ　全出力[上記出力]

③対象選択画面になりますので左右ボタンで『上記出力』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈削除確認〉A　月火水木金土日
10:00　－(01/02)端子1　⇒　削除
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　中止[実行]

この時上下ボタンで他の出力設定を表示できます。

④確認メッセージが表示されます。カーソルを『実行』に合わせて、決定（設定）ボタンを押しますと選択した出力の削除が実行されます。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑤プログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示されます。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

⑥処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム確認画面またはプログラム選択画面に戻ります。これで出力設定の削除は完了です。

④プログラム修正（変更 → 曜日）

対象時刻のプログラムの曜日を変更します。

◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　　[修正]

①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定（設定）ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 削除[変更] 追加

②修正選択画面になりますので左右ボタンで『変更』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈項目選択〉A　月火水木金土日
10:00　－ (01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 [曜日]時刻 出力

③項目選択画面になりますので左右ボタンで『曜日』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈曜日変更〉A　[月火水木金土日]
10:00　－ (01/02)端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ ON/OFF

④曜日変更画面になりますので上下左右ボタンで修正後の曜日のみを表示させて決定（設定）ボタンを押してください。

〈変更確認〉A　火　木　土
10:00　－ (01/02)端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
▲▼ 設定

この時上下ボタンで他の出力設定を表示できます。

⑤修正確認画面になりますので修正後の内容を確認して決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑥決定（設定）ボタンを押しますとプログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示されます。

◎登録済みプログラムと重複している場合は重複確認画面に移行します。（26頁「プログラム重複について」参照）

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

⑦処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム確認画面に戻ります。これで曜日設定の変更は完了です。

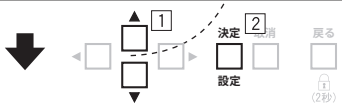
プログラムの修正

⑤プログラム修正(変更 → 時刻)

対象時刻のプログラムの時刻を変更します。

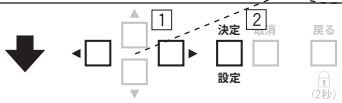
◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]



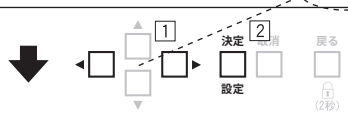
①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定(設定)ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 削除[変更] 追加



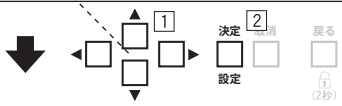
②修正選択画面になりますので左右ボタンで『変更』にカーソルを合わせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈項目選択〉A　月火水木金土日
10:00　－ (01/02) 端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　曜日[時刻]出力



③項目選択画面になりますので左右ボタンで『時刻』にカーソルを合わせて決定(設定)ボタンを押してください。

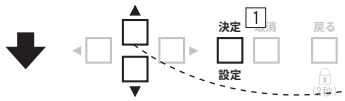
〈時刻変更〉A　月火水木金土日
[10:00]　－　(01/02)端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 時刻



④時刻変更画面になりますので上下左右ボタンで時刻を変更して決定(設定)ボタンを押してください。

〈変更確認〉A　月火水木金土日
15:00　－　(01/02)端子1　＝ ﾊﾟﾙｽ
▲▼ 設定

この時上下ボタンで他の出力設定を表示できます。



⑤修正確認画面になりますので修正後の内容を確認して決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑥決定(設定)ボタンを押しますとプログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示されます。

◎登録済みプログラムと重複している場合は重複確認画面に移行します。(26頁「プログラム重複につ

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

⑦処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム確認画面に戻ります。これで時刻設定の変更は完了です。

⑥プログラム修正(変更 → 出力)

対象時刻のプログラムの出力設定を変更します。

◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　[修正]

①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定(設定)ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定 削除[変更] 追加

②修正選択画面になりますので左右ボタンで『変更』にカーソルを合わせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈項目選択〉A　月火水木金土日
10:00　－ (01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　曜日時刻[出力]

③項目選択画面になりますので左右ボタンで『出力』にカーソルを合わせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈出力変更〉A　月火水木金土日
10:00　－ [(01) 端子1]　＝　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力番号

④出力変更画面になりますので上下ボタンで変更したい出力番号を選択してください。

〈出力変更〉A　月火水木金土日
10:00　－ [(01)端子1] ＝　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

⑤左右ボタンでカーソルを出力先にあわせて上下ボタンで変更したい出力先に変更してください。
◎同じ出力先が違う出力番号に設定されているとエラー表示画面になります。内容を確認後、いずれかのボタンを押して元の画面に戻り、修正をやりなおしてください。

〈出力変更〉A　月火水木金土日
10:00　－　(01)端子1　＝ [ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 状態

⑥左右ボタンでカーソルを出力状態にあわせて上下ボタンで変更したい出力状態にしてから、決定(設定)ボタンを押してください。

〈変更確認〉A　月火水木金土日
10:00　－　(01/02)端子1　＝　切
▲▼ 設定

この時上下ボタンで他の出力設定を表示できます。

⑦修正確認画面になりますので修正後の内容を確認して決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑧決定(設定)ボタンを押しますとプログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示されます。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

⑨処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム選択画面に戻ります。これで出力設定の変更は完了です。

プログラムの修正

⑦プログラム修正（追加）

対象時刻のプログラムに出力設定を追加します。

◎プログラム確認画面表示までの操作については27頁の「プログラムの確認」をご覧ください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ確認〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　　[修正]

①プログラム確認画面において修正したいプログラムを表示して決定（設定）ボタンを押してください。

〈修正選択〉A　月火水木金土日
10:00　－[(01/02) 端子1　＝　ﾊﾟﾙｽ]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 設定　削除　変更[追加]

②修正選択画面になりますので左右ボタンで『追加』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈出力追加〉A　月火水木金土日
10:00　－[(03) 端子3]　＝　切
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

既に登録してある出力設定は表示されず、選択できません

③出力追加画面になりますので、上下左右ボタンで追加したい出力設定を選択して決定（設定）ボタンを押してください。

〈追加確認〉A　月火水木金土日
10:00　－　(03/03)端子3　＝　切
▲▼ 設定　　[決定]追加

[決定] [追加]

④追加確認画面になりますので追加する出力設定が他になければ左右ボタンで『決定』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。さらに別の出力設定を追加する場合は『追加』にカーソルを合わせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈出力追加〉A　月火水木金土日
10:00　－　[(04) 端子4]　＝　ﾊﾟﾙｽ
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ 出力先

既に登録してある出力設定は表示されず、選択できません

⑤再度出力追加画面になりますので、同様に上下左右ボタンで追加する出力を設定して決定（設定）ボタンを押してください。

〈追加確認〉A　月火水木金土日
10:00　－　(04/04)端子4　＝　ﾊﾟﾙｽ
▲▼ 設定

この時上下ボタンで他の出力設定を表示できます

⑥再度追加確認画面になりますので修正後の内容を確認して、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正しています
しばらくお待ちください

この処理にかかる時間は対象となるプログラムの登録数に比例します

⑦決定（設定）ボタンを押しますとプログラム修正処理が実行され、プログラム修正中画面が表示され

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正完了〉
正常に終了しました

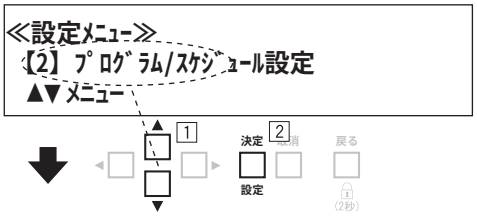
⑧処理が終わるとプログラム修正完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム確認画面に戻ります。これで出力設定の変更は完了です。

プログラム／スケジュールの編集

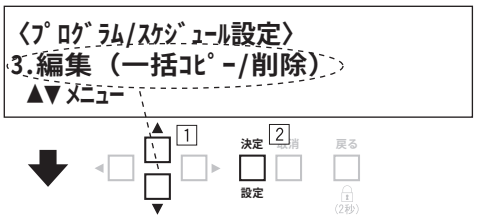
●プログラム編集では登録済みプログラムのグループや曜日を指定して、まとめてコピーや削除を行います。既に登録済みの週間／当日プログラムを異なるグループにコピーを行いたい場合や、グループや曜日ごとにまとめてプログラムを削除したい場合は、下記手順を参考にしてプログラム編集を行ってください。

①一括コピー

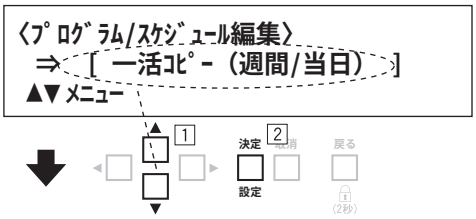
プログラムコピーを実行すると、コピー先のグループ/曜日に登録されていたプログラムは全て削除されますので、ご注意ください。



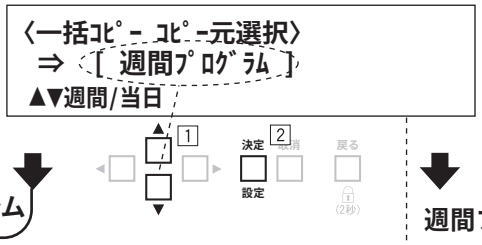
①設定メニューにおいて上下ボタンで『【2】プログラム/スケジュール設定』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。



②プログラム/スケジュール設定メニューにおいて上下ボタンで『3、編集(一括コピー/削除)』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。



③プログラム/スケジュール編集画面において、上下ボタンで『一活コピー(週間/当日) 』を選択して決定(設定)ボタンを押してください。

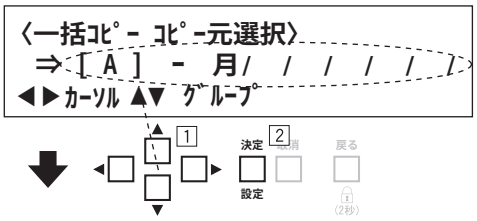


④プログラム選択画面が表示されますので、上下ボタンでコピーしたいプログラムを選択して決定(設定)ボタンを押してください。

当日プログラム

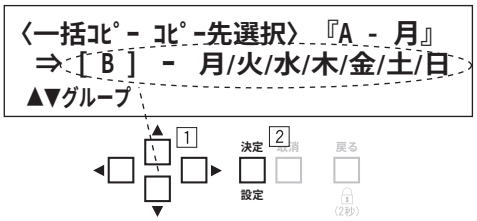
週間プログラム

週間プログラム



⑤続いて上下左右ボタンでコピーするグループ及び曜日を選択して決定(設定)ボタンを押してください。

◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムへの一括コピーはできません。



⑥コピー先選択画面が表示されますので、上下左右ボタンでコピー先のグループを選択して決定(設定)ボタンを押してください。

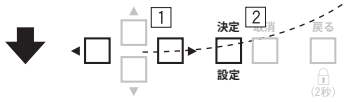
◎コピー元に複数の曜日を指定した場合は、コピー先の曜日も同じ曜日になります。1つの曜日だけを指定した場合は、コピー先に複数の曜日を指定できます。

次頁へ続く

プログラム／スケジュールの編集

週間プログラム

〈一括ｺﾋﾟｰ確認〉　『A-月』
Bｸﾞﾙｰﾌﾟ全ての曜日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに
ｺﾋﾟｰ(上書き)します　　中止[実行]



⑦コピー内容が表示されますので、内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈一括ｺﾋﾟｰ中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑをｺﾋﾟｰしています
しばらくお待ちください

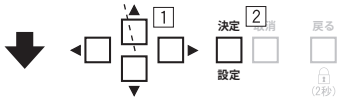
⑧決定(設定)ボタンを押しますと、プログラムコピー処理が実行され、プログラムコピー中画面が表示されます。

〈一括ｺﾋﾟｰ完了〉
正常に終了しました

⑨処理が終わるとプログラムコピー完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール編集画面に戻ります。

当日プログラム

〈一括ｺﾋﾟｰ ｺﾋﾟｰ先選択〉『当日』
⇒[A] ー 月/火/水/木/金/土/日
▲▼グループ



⑤コピー先選択画面が表示されますので、上下左右ボタンでコピー先のグループ及び曜日を選択して決定(設定)ボタンを押してください。

◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムへの一括コピーはできません。

〈一括ｺﾋﾟｰ確認〉『当日』
Aｸﾞﾙｰﾌﾟ全ての曜日のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑに
ｺﾋﾟｰ(上書き)します　　中止[実行]

⑥コピー内容が表示されますので、内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈一括ｺﾋﾟｰ中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑをｺﾋﾟｰしています
しばらくお待ちください

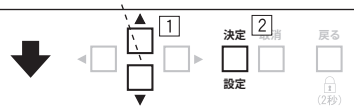
⑦決定(設定)ボタンを押しますと、プログラムコピー中画面が表示され、プログラムコピー処理が実行されます。

〈一括ｺﾋﾟｰ完了〉
正常に終了しました

⑧処理が終わるとプログラムコピー完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール編集画面に戻ります。

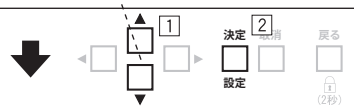
②一括削除

≪設定ﾒﾆｭｰ≫
【2】ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ設定
▲▼ﾒﾆｭｰ



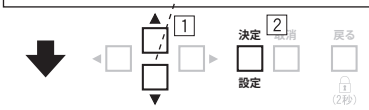
①設定メニューにおいて上下ボタンで『【2】プログラム／スケジュール設定』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ設定〉
3.編集 （一括ｺﾋﾟｰ/削除）
▲▼ﾒﾆｭｰ



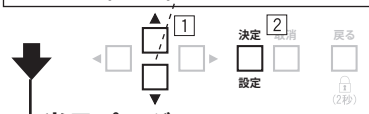
②プログラム／スケジュール設定メニューにおいて上下ボタンで『3.編集（一括コピー/削除）』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ編集〉
⇒［ 一括削除（週間/当日/年間）］
▲▼ﾒﾆｭｰ



③プログラム/スケジュール編集画面において、上下ボタンで『一括削除（週間/当日/年間）』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。

〈一括削除 削除対象選択〉
⇒［ 週間ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ］
▲▼週間/当日/年間



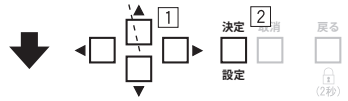
当日プログラム
年間スケジュール

週間プログラム

④削除対象選択画面が表示されますので、上下ボタンで削除したいプログラムまたはスケジュールを選択して決定（設定）ボタンを押してください。

週間プログラム

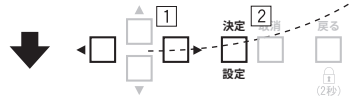
〈一括削除 削除対象選択〉
⇒［ A ］ - 月/火/水/木/金/ ］
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ ｸﾞﾙｰﾌﾟ



⑤続いて上下左右ボタンで削除するグループ及び曜日を選択して決定（設定）ボタンを押してください。

◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムの一括削除はできません。

〈一括削除確認〉
Aｸﾞﾙｰﾌﾟ月火水木金のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
削除します 中止［実行］



⑥削除内容が表示されますので、内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈一括削除中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを削除しています
しばらくお待ちください

⑦決定（設定）ボタンを押しますと、プログラム削除処理が実行され、プログラム削除中画面が表示されます。

〈一括削除完了〉
正常に終了しました

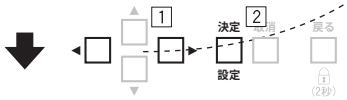
⑧処理が終わるとプログラム削除完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール編集画面に戻ります。これで一括削除は完了です。

次頁へ続く

プログラム／スケジュールの編集

当日プログラム

〈一括削除確認〉
当日ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを
削除します　　中止[実行]



〈一括削除中〉
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを削除しています
しばらくお待ちください

〈一括削除完了〉
正常に終了しました

⑤削除内容が表示されますので、内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定（設定）ボタンを押してください。

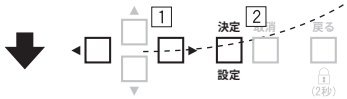
◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムの一括削除はできません。

⑥決定（設定）ボタンを押しますと、プログラム削除処理が実行され、プログラム削除中画面が表示されます。

⑦処理が終わるとプログラム削除完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール編集画面に戻ります。

年間スケジュール

〈一括削除確認〉
年間ｽｹｼﾞｭｰﾙを
削除します　　中止[実行]



〈一括削除中〉
ｽｹｼﾞｭｰﾙを削除しています
しばらくお待ちください

〈一括削除完了〉
正常に終了しました

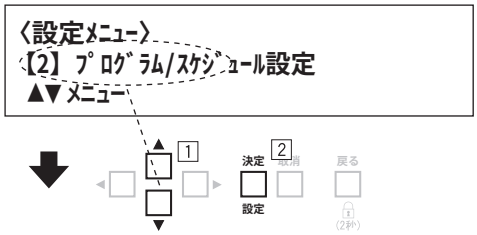
⑤削除内容が表示されますので、内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定（設定）ボタンを押してください。

⑥決定（設定）ボタンを押しますと、スケジュール削除処理が実行され、プログラム削除中画面が表示されます。

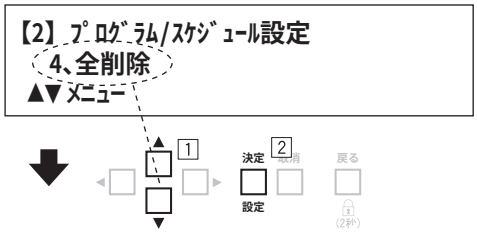
⑦処理が終わるとスケジュール削除完了画面が表示され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール編集画面に戻ります。

プログラム/スケジュールの全削除

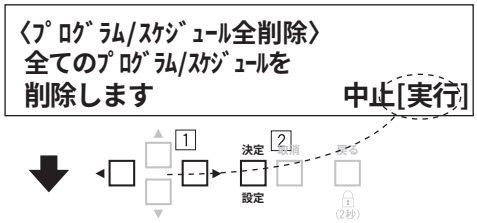
●プログラム／スケジュールの登録を一からやりなおしたい場合は、下記手順を参考にして、プログラム／スケジュール全削除を行ってください。



①設定メニューにおいて上下ボタンで『【2】プログラム/スケジュール設定』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。



②プログラム/スケジュール設定メニューにおいて上下ボタンで『4、全削除』を選択し、決定（設定）ボタンを押してください。



③プログラム/スケジュール全削除の内容が表示されますので内容を確認後、左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定（設定）ボタンを押してください。

〈全削除完了〉
全ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙを削除しました

④プログラム/スケジュール全削除が実行され、数秒後に自動的にプログラム/スケジュール設定メニューに戻ります。

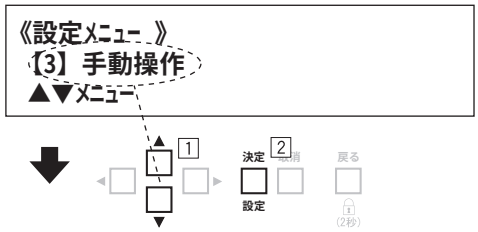
◎全削除を行いますと、動作プログラムは未選択となりタイマー動作OFF状態になります。

手動操作

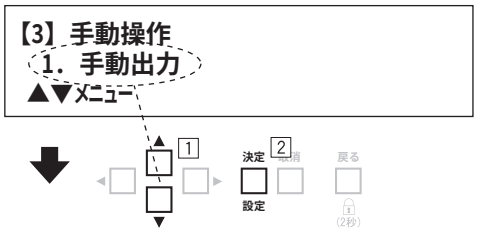
●本機器と被制御機器の配線が済みましたら、下記手順を参考にして、機器間の配線や接続機器の動作確認及びプログラムの動作確認を行ってください。

手動操作について	
手動出力	出力先と出力状態を指定して、任意のタイミングで出力制御を行います。タイマー動作ON状態でも実行でき、次のタイマー制御が実行されるまでこちらの出力制御が優先されます。
週間／当日プログラムテス	任意のタイミングで指定したプログラムの1ステップを出力制御します。（タイマー動作ON状態では実行できません。プログラムテスト画面に出入りすると、出力状態は全て『切』状態になります。）

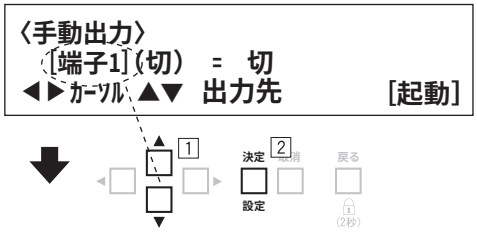
• 手動出力



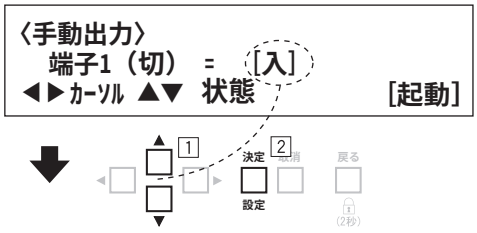
①設定メニューにおいて上下ボタンでメニューを変更し、『【3】手動操作』で決定（設定）ボタンを押してください。



②手動操作メニュー画面が表示されますので『1、手動出力』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。



③手動出力画面が表示されますので上下ボタンで手動出力を行う出力先を選択してください。
※画面の（　）内には現状の端子出力状態または通信接続状態が表示されます。状態表示の詳細については37頁の「動作表示概要」をご参照ください。



④上下ボタンで出力状態を選択し、決定（設定）ボタンを押しますと指定した出力が起動します。

◎手動で起動した『入』出力を解除する方法は下記の方法があります。

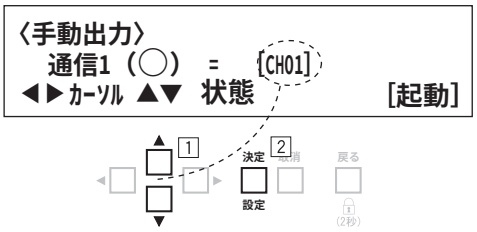
1 タイマー動作状態がONからOFFに変更された場合（プログラム/スケジュールの全削除時を除く）

2 手動またはタイマー動作において『切』出力が起動された場合

3 復帰動作設定が動作OFF状態に設定されている時の電源ON時（停電復帰時）

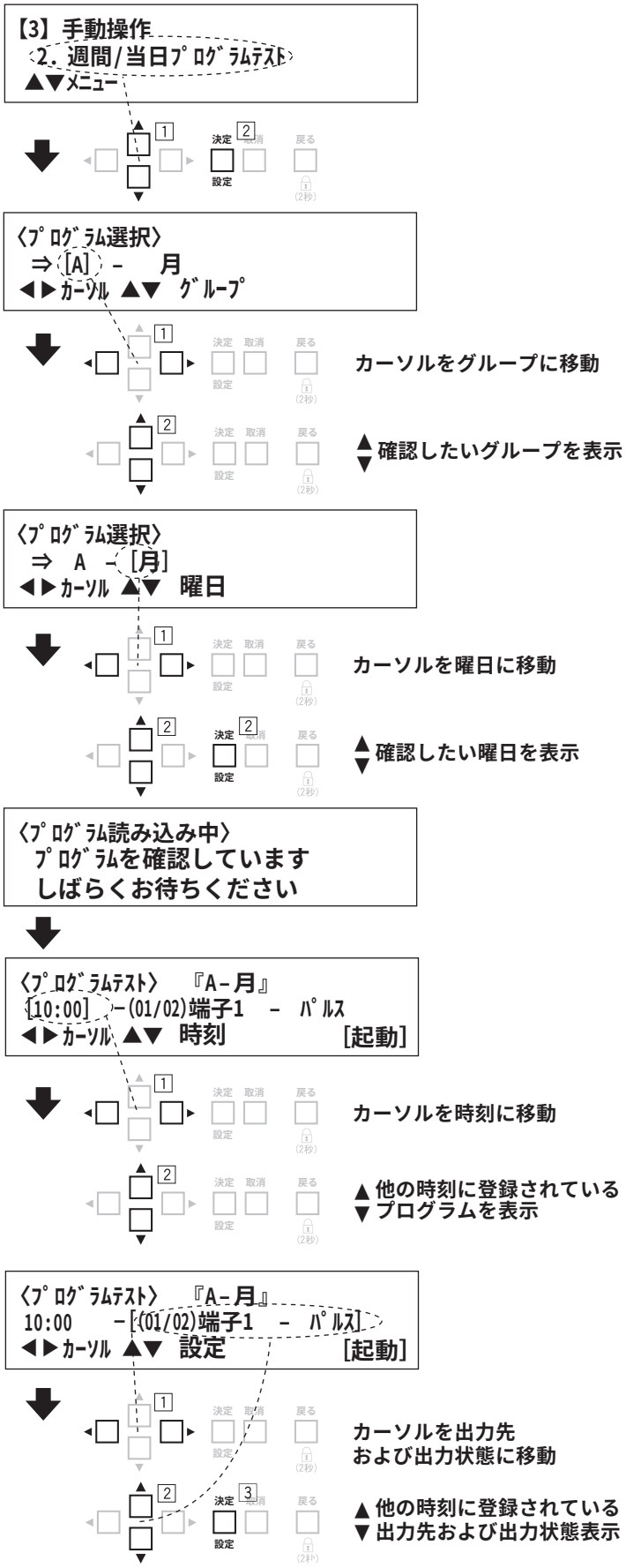
4 手動操作画面でプログラムテストを選択し、プログラムテスト画面に移行した場合

□通信出力の場合



○通信出力の場合はチャンネルを指定して起動を行います。
※端子出力状態を『入』にした場合は、手動またはタイマー動作で『パルス』での出力はされません。

②週間／当日プログラムテスト



①手動操作メニュー画面において『2、プログラムテスト（週間／当日）』を選択して決定（設定）ボタンを押してください。

②上下ボタンで確認したいグループ（A～D、当）を選択してください。

③左右ボタンでカーソルを曜日へ移動させ、上下ボタンで確認したい曜日を選択して、決定（設定）ボタンを押してください。
※当日プログラムの場合は曜日の選択は不要です。

④左の画面が表示され、プログラムの読み込み処理が終了すると、自動的にプログラムテスト画面に移行します。

⑤時刻にカーソルを合わせ上下ボタンを押しますと、他の時刻に登録されているプログラムを表示します。

⑥左右ボタンでカーソルを移動させて出力先および出力状態にカーソルを合わせ上下ボタンを押しますと、同時刻に登録されている他の出力先と出力状態を表示します。
決定（設定）ボタンを押しますと、表示している時刻のプログラムが起動します。

◎プリ（5秒前）出力設定している出力先と通常の出力先の両方が登録されている場合は、まずプリ（5秒前）出力設定している出力先が起動し、その5秒後に通常の出力が起動します。

SDカード操作

●本機ではSDカードを利用して、プログラムファイルの入出力が可能です。SDカードからプログラムファイルを読み込んでプログラムの登録を行ったり、本体に登録したプログラムをSDカードに保存したい場合は、SDカード（別売）を別途ご用意していただき、下記手順を参考にして、プログラムファイルの入出力を行ってください。

SDカード（別売）の使用について

ご使用可能なＳＤカードについて

SDロゴは商標です。

●ミニSDカード、SDＨＣカード、SDXCカード、マイクロSDカード、マイクロSDHCカードは本機器でご使用頂けません。
●上記以外のSDカードでも、一部のメーカーや特定のSDカードでは、本機でご使用頂けない場合がございます。本機で動作確認済みのSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問合せをお願い致します。
●使用できるSDカードは容量が128MB～2GBのものに限定されます。

CSV形式プログラムファイルの準備について

本機でSDカードを使用する場合は、次の方法に従ってください。
○本機はフォルダーには対応していませんので、ファイルはフォルダーなどを作らずに転送してください。（フォルダー内のファイルは認識しません。）
○本機で保存したプログラムファイルの名前をパソコン上などで変更した場合、再度読み出す時には下記のファイル名に戻してください。
（ファイル名は半角英数字で入力してください。）
（本機でプログラムを保存する際は、下記の名前から選択して保存することになります。）
P-DATA-1.csv／P-DATA-2.csv／P-DATA-3.csv／P-DATA-4.csv
P-DATA-5.csv／P-DATA-6.csv／P-DATA-7.csv／P-DATA-8.csv
○SDカードは下記（※1）のSDカードフォーマッタを使用し、事前にフォーマットをしてからお使いください。
※１　http://panasonic.jp/support/sd_w/download/sd_formatter.html

SDカードのデーターのバックアップについて

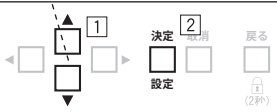
●SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切なプログラムファイルデーターはパソコンにバックアップし、記憶内容をメモしておいてください。

• プログラムファイル保存

●本体に登録されているすべてのプログラム及び年間スケジュールを1つのプログラムファイルとしてカードに保存します。

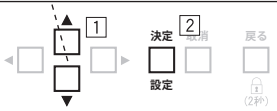
●ご注意　・保存ファイル名と同じ名前のプログラムファイルがSDカードに存在した場合、元々カード内にあったプログラムファイルが上書きされますのでご注意ください。

≪設定ﾒﾆｭｰ≫
【4】SDｶｰﾄﾞ操作
▲▼ﾒﾆｭｰ



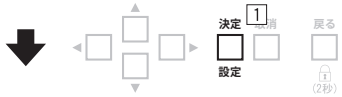
①設定メニューにおいて上下ボタンで『【4】SDカード操作』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

【4】SDｶｰﾄﾞ操作
1. ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙ保存
▲▼ﾒﾆｭｰ



②SDカード操作メニューにおいて『1、プログラムファイル保存』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙ保存〉
本体に登録されている全ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑと
全ｽｹｼﾞｭｰﾙをｶｰﾄﾞに保存します



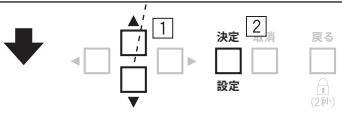
③プログラムファイル保存の内容が表示されますので内容を確認後、決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾃﾞｰﾀ 読み込み中〉
本体とｶｰﾄﾞのﾃﾞｰﾀを確認中です
しばらくお待ちください

データ読み込み時間は本体とカードのプログラムデータの大きさに比例します。

④決定(設定)ボタンを押しますと、本体とSDカードのデータ読み込みが開始されます。

〈保存ﾌｧｲﾙ名選択〉
⇒ [P-DATA-1.csv]
▲▼ﾌｧｲﾙ名



⑤読み込みが終了すると保存ファイル名の選択画面になりますので、ファイル名を選択して決定(設定)ボタンを押してください。

〈上書き確認〉
ｶｰﾄﾞに保存しているﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙに
上書きします　　[中止]実行

この画面は上書き対象が存在する場合にのみ表示されます

⑥SDカード内のプログラムファイルに上書きとなる場合は確認メッセージが表示されます。問題がなければ左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙ保存中〉
ｶｰﾄﾞにﾃﾞｰﾀを保存しています
しばらくお待ちください　　0%

0%～100%の間で処理の進行度を表示します

⑦決定(設定)ボタンを押しますと、SDカードへのプログラムファイル保存処理が開始されます。
◎ファイル保存にかかる時間はプログラムやスケジュールの登録数には依存せず、約1分程度です。

〈保存完了〉
正常に終了しました

⑧登録が終了すると登録完了画面が表示され、自動的に設定メニューに戻ります。
これでプログラムファイル保存は完了です。

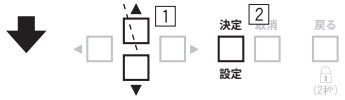
SDカード操作

• プログラムファイル読み出し登録

●カードに保存されているプログラムファイルから、読み出すプログラムまたはスケジュールを選択して本体に登録します。

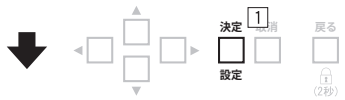
●ご注意　・読み出し登録を行ったグループに元々登録してあった本体のプログラムは削除されますのでご注意ください。

【4】SDｶｰﾄﾞ操作
2、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ読み出し登録
▲▼ﾒﾆｭｰ



①SDカード操作メニューにおいて『2、プログラムファイル読み出し登録』を選択し、決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙ読み出し登録〉
ｶｰﾄﾞ内のﾌｧｲﾙを読み出して本体に
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑやｽｹｼﾞｭｰﾙを登録します



②プログラムファイル読み出し登録の内容が表示されますので内容を確認後、決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾃﾞｰﾀ 読み込み中〉
本体とｶｰﾄﾞのﾃﾞｰﾀを確認中です
しばらくお待ちください

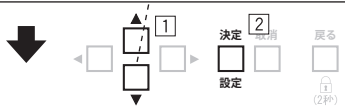
データ読み込み時間は本体とカードのプログラムデータの大きさに比例します。

③決定(設定)ボタンを押しますと、本体とSDカードのデータ読み込みが開始されます。

〈読み出しﾌｧｲﾙ名選択〉
⇒ [P-DATA-1.csv]
▲▼ﾌｧｲﾙ名

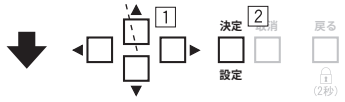
カード内に存在するファイル名のみ表示します。

④読み込みが終了すると読み出しファイル名の選択画面になりますので、ファイル名を選択して決定(設定)ボタンを押してください。



⑤読み出しデータ選択画面が表示されますので左右ボタンでカーソルを移動、上下ボタンで読み出したいプログラムまたはスケジュールのみを表示させて決定(設定)ボタンを押してください。

〈読み出しｸﾞﾙｰﾌﾟ選択〉
⇒ [A/B/C/D/当/年]
◀▶ｶｰｿﾙ ▲▼ ON/OFF

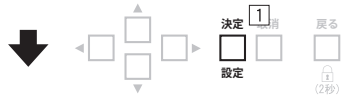


読み出し選択で選んだプログラムまたはスケジュールのみ変更されます。

◎タイマー動作ON状態では動作プログラムに設定されているプログラムの読み出し登録はできません。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ上書き確認〉
本体に登録済みのﾃﾞｰﾀに
上書きします　[中止]実行

この画面は上書き対象が存在する場合にのみ表示されます



⑥本体のプログラムまたはスケジュールに上書きとなる場合は確認メッセージが表示されます。問題がなければ左右ボタンでカーソルを『実行』にあわせて決定(設定)ボタンを押してください。

〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ登録中〉
本体にﾃﾞｰﾀを登録しています
しばらくお待ちください　0%

0%～100%の間で処理の進行度を表示します

⑦決定(設定)ボタンを押しますと、本体へのプログラムまたはスケジュール登録処理が開始されます。

◎ファイル読み出し登録にかかる時間は選択したプログラムやスケジュールの登録数に依存し、最大で約1分程度です。

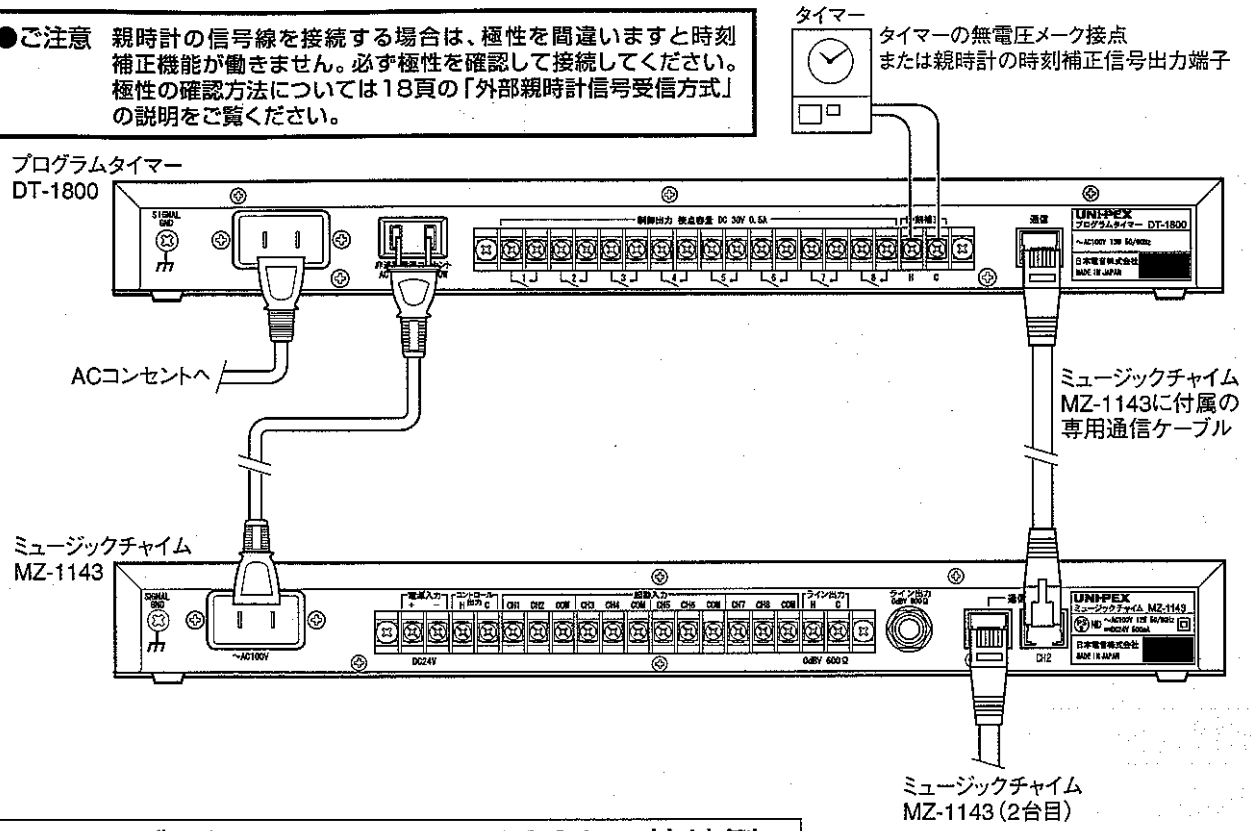
〈登録完了〉
正常に終了しました

⑧登録が終了すると登録完了画面が表示され、自動的に設定メニューに戻ります。これでプログラムファイル読み出し登録は完了です。

施工方法

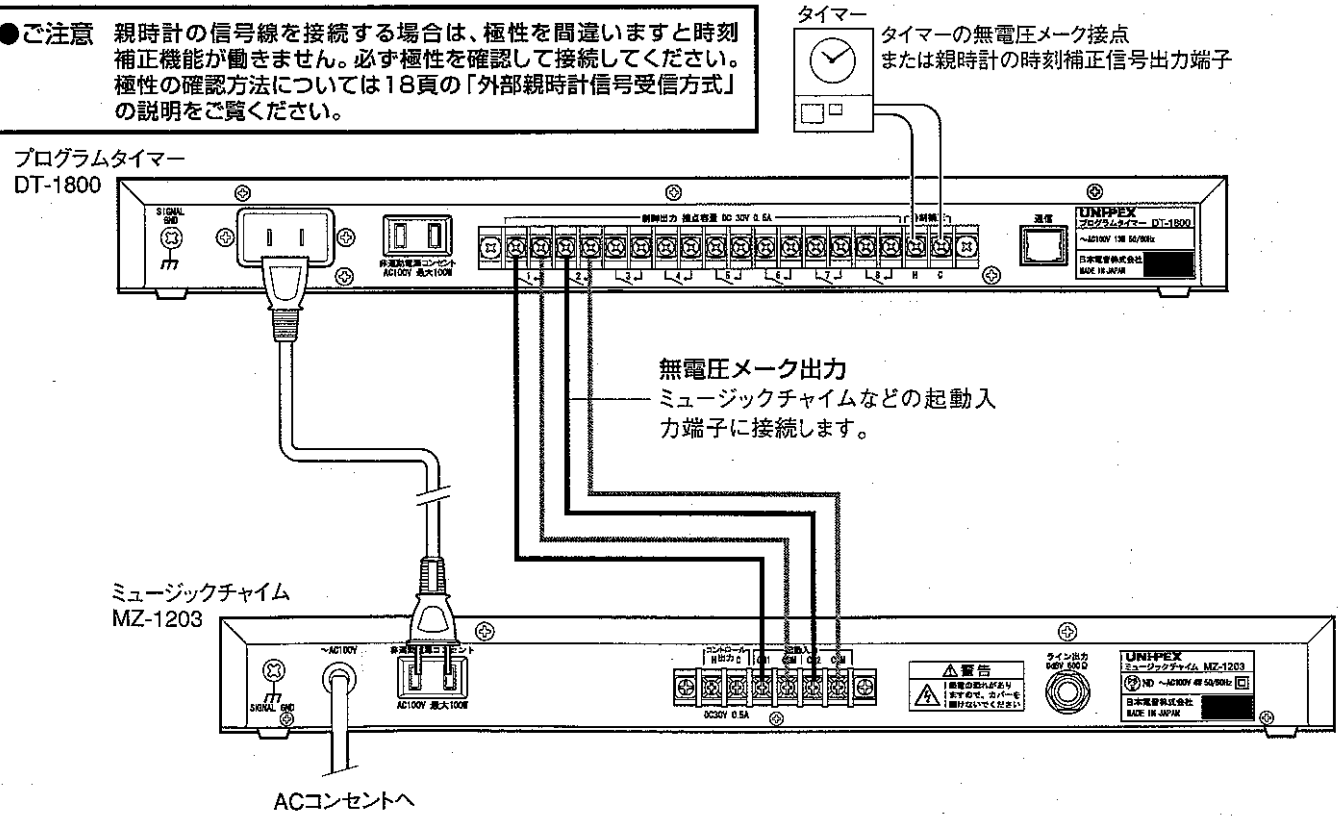
ミュージックチャイム MZ-1143との接続例

●ご注意　親時計の信号線を接続する場合は、極性を間違いますと時刻補正機能が働きません。必ず極性を確認して接続してください。極性の確認方法については18頁の「外部親時計信号受信方式」の説明をご覧ください。



ミュージックチャイム MZ-1203との接続例

●ご注意　親時計の信号線を接続する場合は、極性を間違いますと時刻補正機能が働きません。必ず極性を確認して接続してください。極性の確認方法については18頁の「外部親時計信号受信方式」の説明をご覧ください。



⚠警告　接続作業をおこなうときは、必ず本機及び接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

入出力仕様

■出力

●サービスコンセント（最大100W　非連動　ＡＣ100Ｖ）
音響機器専用です。他の機器は接続しないでください。

●端子台／端子出力1～8（最大　ＤＣ30Ｖ　0.5Ａ）
無電圧メーク接点出力（ａ接点）です。ミュージックチャイムやアンプの起動などに使用します。
出力状態はパルス出力（約3秒間）、メーク（入）、ブレーク（切）の3種類を設定可能です。
出力端子間に電圧は発生しませんのでご注意ください。

●通信コネクター／通信出力1～7
専用の通信機能付きの機器の制御に使用します。1から7までの番号は、被制御機器の機器番号に相当します。（詳細は被制御機器の取扱説明書をご参照ください。）

■入力

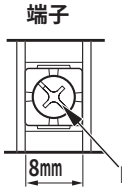
●端子台／時刻補正用入力端子
無電圧メーク接点出力または30秒有極パルス信号を入力することで本機器の設定に応じた時刻補正が可能です。時刻補正機能については17頁の『時刻補正の設定』をご参照ください。

結線方法

■線材の用意

○適合電線

端子名	電線の種類
起動出力 時刻補正用入力	600 Vビニール絶縁電線 ・単　線：φ0.9㎜（AWG20）～φ1.2㎜（AWG16） ・より線：0.3㎜²（AWG22）～1.25㎜²（AWG16）

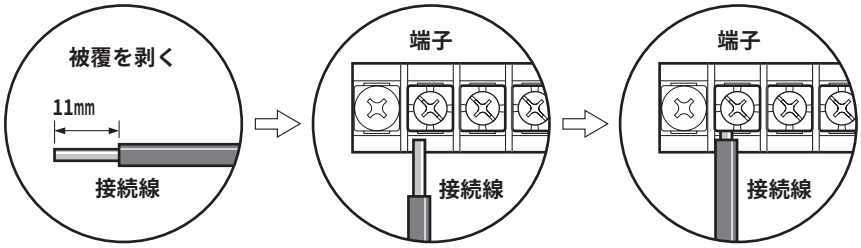


お願い
より線を使用される場合は圧着端子のご使用をおすすめします。圧着端子は左記寸法を参考にしてご使用ください。

■接続線の加工

●各端子への接続

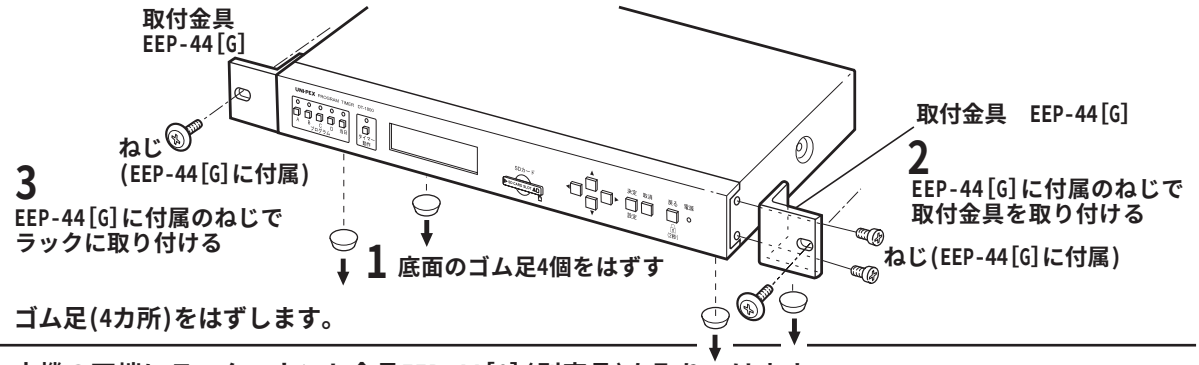
①接続線の被覆を剥く。（芯線の長さ：約11㎜）
②端子のねじをゆるめ接続線を座金の下に差し込む。
③接続線をねじで締め付ける。（締め付けトルク：0.6N･m）



⚠警告　半田あげ線は絶対に使用しないでください。
不完全接触により火災の原因になります。

EIA規格ラックへの取付方法

●EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック取付金具EEP-44[G]で下図のように取り付けてください。



1 ゴム足(4カ所)をはずします。

2 本機の両端にラックマウント金具EEP-44[G](別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(EEP-44[G]に付属)で固定します。

メモ

- 電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
- ラック内の温度が＋40℃以上にならないように、通風や換気を良くしてください。
- EIA規格相当のラックに取り付けられます。
- EEP-44はブラック仕上げ、EEP-44Gはグレー仕上げです。寸法はどちらも同じです。

エラー表示例

プログラム設定時

エラー表示	エラー内容	対策・処置
〈登録数超過ｴﾗｰ〉 [戻る] ○○○○○○ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは これ以上登録できません	対象プログラムが既に最大登録数に達している為、これ以上登録できません。	・不要なプログラムを削除してください。
〈ﾀｲﾏｰ動作中ｴﾗｰ〉 [戻る] ﾀｲﾏｰ動作ON時は動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ の○○○○はできません	タイマー動作ON状態で対象プログラムが動作プログラム(翌日含む)に設定されている為、登録/修正/一括コピー/一括削除ができません。	・タイマー動作をOFF状態にしてください。 ・対象プログラムを動作プログラムに設定しないでください。
〈年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ設定ｴﾗｰ〉 [戻る] 同じ日付/優先順位のｽｹｼﾞｭｰﾙが 既に登録/設定されています	同じ日付でかつ同じ優先順位のスケジュールが既に登録/設定されている為、年間スケジュールの登録/追加ができ	・設定中のスケジュール内容を変更してください。 ・不要なスケジュールを削除してください。
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ未登録〉 [戻る] ○○○○○○ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは 未登録です	対象プログラムが登録されていない為、確認または編集ができません。	・プログラムを登録してください。
〈登録数超過ｴﾗｰ〉 [戻る] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの最大登録数を超える為 指定の処理はできません	指定の修正処理によって対象プログラムの登録数が最大登録数をオーバーする為、指定の処理ができません。	・不要なプログラムを削除してください。
〈登録ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ〉 [戻る] ﾃﾞｰﾀが破損している為 全ての曜日を削除してください	破損しているデータを全て削除する必要がある為、一括削除ができません。	・全ての曜日を選択して一括削除を行ってください。
〈登録ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ〉 [戻る] ﾃﾞｰﾀが破損している為、一活削除後 に再登録してください ＞ ○○○○	登録/修正等の処理中に停電等の異常があった為データが破損しており、該当するプログラム/スケジュールの動作が保証できません。	・該当データを一活削除または全削除で削除するか、一括コピーやファイル読み出し登録で上書きしてください。
〈出力先重複ｴﾗｰ〉 [戻る] 同じ出力先の設定が複数ある為 指定の変更はできません	出力変更処理において同じ出力先の設定が複数の出力番号で設定されている為、指定の変更ができません。	・重複している出力先の設定を変更してください。
〈SDｶｰﾄﾞ未検出〉 [戻る] ｶｰﾄﾞが検出できません 正しく挿入しなおしてください	SDカードが正しく挿入されていない為、SDカード操作ができません。	・SDカードを入れなおしてください。

エラー表示例

SDカード操作時

エラー表示	エラー内容	対策・処置
〈ﾀｲﾏｰ動作中ｴﾗｰ〉 [戻る] ﾀｲﾏｰ動作ON時は動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ の読み出しはできません	タイマー動作ON状態で対象プログラムが動作プログラムに設定されている為、SDカードからの読み出し登録はできません。	・タイマー動作をOFF状態にしてください。 ・対象プログラムを動作プログラムに設定しないでください。
〈SDｶｰﾄﾞ FATｴﾗｰ〉 [戻る] ｶｰﾄﾞが未対応のﾌｫｰﾏｯﾄ形式です	挿入しているSDカードのフォーマット形式がFAT12/FAT32の為、カードからの読み込みまたはカードへの保存ができません。	・SDカードを入れなおしてください。それでも認識されない場合は、カードのフォーマット形式が異常ですので、「※1」のSDカードフォーマッタでフォーマットしなおしてください。
〈SDｶｰﾄﾞ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ未検出〉 [戻る] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙが検出できません ｶｰﾄﾞを確認しなおしてください	挿入しているSDカードに読み出し可能なプログラムファイルが存在しない為、読み出し登録ができません。	・SDカードにプログラムファイルをファイル転送するか、プログラムファイルが存在するカードに入れ替えてください。
〈SDｶｰﾄﾞ ﾌﾟﾛﾃｸﾄ〉 [戻る] ｶｰﾄﾞがﾗｲﾄﾌﾟﾛﾃｸﾄ状態です 正しく挿入しなおしてください	SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっている為、プログラムファイル保存ができません。	・ロック状態を解除してからプログラムファイル保存をしてください。
〈SDｶｰﾄﾞ ﾒﾓﾘｰ残量ｴﾗｰ〉 [戻る] ｶｰﾄﾞのﾒﾓﾘｰ残量が足りません 不要なﾌｧｲﾙを削除してください	SDカードのメモリー残量が僅少、またはデータ数が規定数を超過している為、プログラムファイル保存ができない状態です。	・不要なデータを消去するか、他のカードと交換してください。
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ/ｽｹｼﾞｭｰﾙ未登録〉 [戻る] 本体にﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑやｽｹｼﾞｭｰﾙが 未登録です	本体にプログラム/スケジュールが登録されていない為、プログラムファイル保存ができません。	・本体にプログラム/スケジュールを登録してください。
〈登録ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ〉 [戻る] ﾃﾞｰﾀが破損している為、一活削除後 に再登録してください > ○○○○	登録/修正等の処理中に停電等の異常があった為データが破損しており、該当するプログラム/スケジュールの動作が保証できません。	・該当データを一活削除または全削除で削除するか、一括コピーやファイル読み出し登録で上書きしてください。
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙｴﾗｰ〉 [戻る] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌｧｲﾙﾃﾞｰﾀが不正だった為 次のﾃﾞｰﾀは未変更です> ○○○○	プログラムファイルから読み出したデータが異常だった為、該当データは処理前の状態のままです。	・再度、読み出し登録を行ってください。それでも正常に処理できない場合は販売店や最寄りの営業窓口まで御連絡下さい。
〈SDｶｰﾄﾞ保存ｴﾗｰ〉 [戻る] ﾌｧｲﾙ保存ｴﾗｰにより 処理を中断しました	SDカードに正常にデータを書き込めなかった為、処理が中断された状態です。	・カードを入れなおして、再度ファイル保存をおこなってください。それでも正常に処理できない場合は販売店や最寄りの営業窓口まで御連絡下さい。
〈SDｶｰﾄﾞ読み込みｴﾗｰ〉 [戻る] ﾌｧｲﾙ読み込みｴﾗｰにより 処理を中断しました	SDカードから正常にデータを読み込めなかった為、処理が中断された状態です。	・カードを入れなおして、再度ファイル読み出し登録をおこなってください。それでも正常に処理できない場合は販売店や最寄りの営業窓口まで御連絡下さい。

ご参考　※1 http://panasonic.jp/support/sd_w/download/sd_formatter.html

通常時及び手動操作時

エラー表示	エラー内容	対策・処置
〈前動作表示不可〉 [戻る] 動作OFF状態または動作開始後に ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ出力は行われていません	タイマー動作がOFF状態であるか、タイマー動作を開始してからプログラム出力は行われていない為、表示できません。	・問題が無ければ対策・処置の必要はありません。
〈前動作表示不可〉 [戻る] 動作OFF状態または動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ が選択されていません	タイマー動作がOFF状態であるか、動作プログラムが設定されていない為、表示できません。	・問題が無ければ対策・処置の必要はありません。
〈次動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ〉 [戻る] 翌々日までに実行される ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑはありません	翌々日までに実行されるプログラムが無い為、表示できません	・問題が無ければ対策・処置の必要はありません。
〈動作ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ変更不可〉 [戻る] 日付変更前1分間は動作変更は 不可の為、元の画面に戻ります	日付変更前1分間（23：59～翌00：00）は動作プログラムの変更はできません	・指定の時間外に動作プログラムの変更を行ってください。

エラー表示	エラー内容	対策・処置
〈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃｽﾄ〉 [戻る] ﾀｲﾏｰ動作ON時はﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾃｽﾄを 実行できません	タイマー動作ON時には手動操作でプログラムテストを実行できません。	・タイマー動作をOFFにしてからプログラムテストを行ってください。

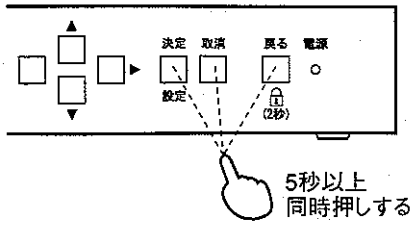
故障かな？と思われましたら

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠警告 ●次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
●本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

症　状	対　策　・　処　置
全く動作しない	・AC電源と正しく接続されているか確認してください。 ・一度電源を切って、再度通電させてください。 ・タイマー動作状態を「ON」にしてください。
入力した通りにプログラムが登録されない	・同じ時刻の別のプログラムとして登録されていないか確認してください。
動作プログラムの設定ができない	・タイマー動作ON状態で動作プログラムを設定中（登録/修正/一括コピー/一括削除など）ではないか確認してください。
年間スケジュールが正しく動作しない	・登録してある日付が正しいか確認してください。 ・優先順位によるものでないか確認してください。
タイマー動作をON状態にできない	・動作プログラムを設定中（登録/修正/一括コピー/一括削除など）ではないか確認してください。
登録や修正などの処理に時間がかかる	・登録内容によって長い時間がかかる場合があります。（最大で約1分）
バックライトが点灯しない	・バックライト設定が常時消灯になっていないか確認してください。
確認音が鳴らない	・確認音設定が「OFF」になっていないか確認してください。
カードからプログラムが読み込めない	・ファイル名が正しいか確認してください。
通信出力によって起動ができない	・通信出力によって起動ができない ・被制御機器の機器番号は正しく設定されていますか? ・通信ケーブルは正しく接続されていますか?
本書に記載されていないエラー表示がでる	・弊社営業所またはお客様相談窓口までお問い合わせをお願いします。
プログラムの変更ができない	・変更前の設定と同じでないか確認してください。
時刻補正機能付機器による時刻補正ができない	・時刻補正機能付機器側の取扱説明書と合わせて確認してください。 ・親時計の信号線を接続されている場合は、極性を確認してください。18頁の「外部親時計信号受信方式」の説明をご覧ください。
通電開始時、一時的に表示が乱れる	・通電開始後5秒以内に正常表示となります。異常ではありません。

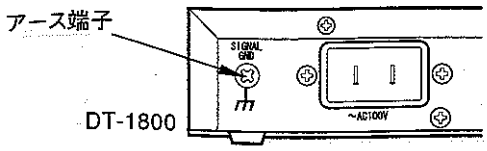
工場出荷状態へ戻す方法



●本機は決定（設定）ボタン、取消ボタン、戻る（キーロック）ボタンの3つを5秒以上同時押ししますと、工場出荷状態に戻すことができます。

●ご注意　**リセット処理を行いますと、全ての設定した内容（各種の基本設定及びプログラム、スケジュール）が消えてしまいますので、事前に登録済みプログラム、スケジュールをSDカードに保存しておくことを推奨致します。**

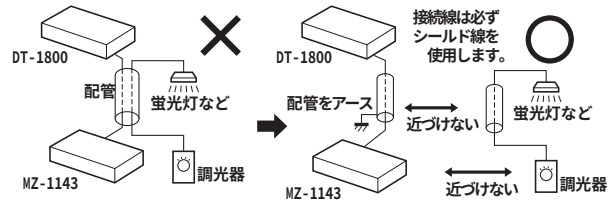
雑音が発生する場合は



●本機に他の音響機器を接続して使用しますと雑音が発生する場合があります。そのような場合は本機のアース端子と接続機器側のアース端子を接続してください。雑音発生の原因によっては雑音を軽減することができます。ご不明な点がございましたら販売店までご相談ください。

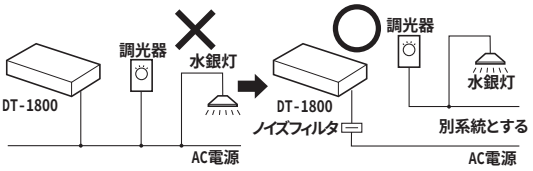
誤動作などの対策について

外来ノイズの影響を受けないために、配線については次のような点にご注意ください。



◆出力線のノイズ対策

調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし、離して布線してください。



◆電源のとりかた

電源は調光器、水銀灯などの系統とは必ず別にしてください。それでも不十分な場合は本機へのAC100V電源線にノイズフィルタを入れてください。

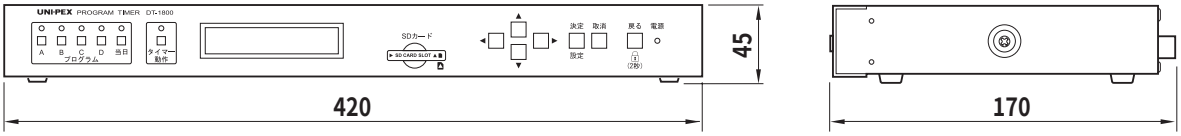
◆携帯電話の使用について

本機の近傍で携帯電話を使用しますと、誤動作などの原因になります。
本機を使用中に携帯電話を使用される場合は充分ご注意ください。

定格

使用電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	13 W以下(電源電圧AC90～110V時) (バックライト点灯、全端子出力「入」、タイマー動作中、SDカードへのプログラム/スケジュール保存時)
内蔵バッテリー	コイン形バナジウムリチウム電池
停電補償 プログラムデータ補償	720時間以上(周囲温度約25℃・満充電状態で使用時) 10年間
時計精度	月差±5秒(周囲温度約25℃)※時刻補正をしない場合
プログラム数	週間プログラム:グループA～D　各グループの各曜日毎に50ステップ(計1400ステップ) 当日プログラム:100ステップ 年間スケジュール:30種類
プログラム内容	週間プログラム:曜日、時、分、出力先、出力状態 当日プログラム:時、分、出力先、出力状態 年間スケジュール:日付、変更内容、変更グループ
プログラム入力	ボタン入力またはSDカードからのプログラムファイル読み込み入力
プログラム出力	SDカードへのプログラムファイル出力
プログラム設定単位	週間／当日プログラム:分 年間スケジュール:日付
出力数	端子出力8系統、通信出力1系統
出力状態	端子出力:保持(入または切)、パルス(約3秒)、通信出力:チャンネル番号(1～99)
出力制御信号 入力制御信号	外部制御端子:無電源メーク接点(接点容量DC24V 0.5A) 外部メーク接点受信部:接点出力(接点容量DC12V 50mA 0.5秒以上) 親時計信号受信部:DC24V 30秒 有極パルス(パルス幅0.5～1秒)
表示	液晶表示、電源表示灯LED×1(緑) プログラム表示灯×5(緑)、タイマー動作表示灯LED×1(緑)
操作部	プログラムボタン(A、B、C、D、当日)、タイマー動作ボタン、 上下ボタン、左右ボタン、決定(設定)ボタン、取消ボタン、戻る(キーロック)ボタン
付帯機能	時刻補正機能(外部メーク接点受信／外部親時計信号受信) ボタン入力時の確認音、プログラムファイル入出力(SDカード使用)
使用温度範囲	－10℃～＋60℃
外装	パネル:(鋼板)マンセルN4.5　近似色 グレー　塗装 カバー:(ビニール鋼板)マンセルN1　近似色 黒
外形寸法	幅 420mm　高さ 45mm(ゴム足含む)　奥行 170mm
質量	約2.0kg
付属品	AC電源ケーブル、取扱説明書(保証書、プログラムシート付)
適合品	EIA規格ラック用(1U)取付金具　EEP-44G

外観寸法図 (単位mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

登録内容表

●プログラムの登録内容を下表に記録しておいてください。
登録内容の変更が予測される場合はコピーして利用されることをおすすめします。

• 週間／当日プログラム用（個別）

グループ				
□A	□B	□C	□D	□当日

曜　日						
□月	□火	□水	□木	□金	□土	□日

時　刻	端　子								通　信						
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															
:															

• 週間／当日プログラム用（共通）

作成日　　年　　月　　日
作成者

No.	グループ					曜日							時刻	端子								通信							備考
	A	B	C	D	当日	月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	

登録内容表

●スケジュールの登録内容を下表に記録しておいてください。
登録内容の変更が予測される場合はコピーして利用されることをおすすめします。

• 年間スケジュール用

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

タイトル：		
□特定　(　　)年　(　　)月　(　　)日 □毎年　(　　)月　(　　)日 □毎月　(　　)日	□限定(＝) □以降(～)	□A ／ □B ／ □C ／ □D／ □当日

RKTDT1800-H0-0